

アート ラボ あいち
ART LAB AICHI



アートラボあいちの活動記録 2011/8-2013/11

ART LAB AICHI 2011/8-2013/11

アートラボあいちの活動記録



アートラボあいちとは

前回のあいちトリエンナーレ2010は、2010年の8月21日から10月31日まで名古屋市内で開催されました。栄の愛知県美術館の入る愛知芸術文化センター、伏見の名古屋市美術館と長者町地区、そして伏見と名古屋駅の中間に位置する納屋橋の倉庫が会場となりました。名古屋市内の中心にあって、繊維卸のまちとして独特の歴史的な景観を残す長者町地区には当時空き家や空きビルなどがあり、その場所をお借りして、展示することができました。美術館での展示とは全く違った美術の見せ方に大きな関心が寄せられ、第一回のあいちトリエンナーレの成功に大きな成果をもたらした、と言えます。長者町からご提供頂いたのは会場だけではありませんでした。何よりも、人間味あふれる長者町の人々との交流が、そこで制作するアーティストの作品のクオリティに大きな影響を与えていた、と言えると思います。2013年の11月までアートラボあいちが入っていた4階建ての万勝S館も、そうした長者町の会場の一つでした。一階にカフェとインフォメーションセンターが入り、2階から4階までは招待作家による展示が行われました。2010年のトリエンナーレは10月に閉幕しましたが、その後もさまざまな活動が自発的にかつ継続的に行われ、その一年後の8月21日に「アートラボあいち」の名前でオープンさせることができました。2013年の第二回のあいちトリエンナーレに向けて、とりわけ、県内の芸術大学との連携により、現代アート作品の展示等を行う拠点とすることにしたのです。また、2013年のあいちトリエンナーレの最新情報も提供するほか、この地域の若いアーティストを紹介する展示を行っていきました。展示にあわせたアーティストトークやワークショップを実施し、作品展示の場所であるのみならず、アーティスト同士、まちの人とアーティスト、鑑賞者とアーティストとを結びつける交流と連携の場として展開していました。もちろん、長者町での作品制作のアトリエとしても使われたのです。こうした多面的な活動を通して、アーティストが、そして現代アートが、さらにはトリエンナーレが、まちの人にとって、より親しみやすい身近なものとして感じられる場所となったのです。しかし、2013年の第二回のあいちトリエンナーレの閉幕に合わせ、このアートラボあいちも、その使命を終え、11月で閉じることになりました。

アートラボあいちの建物を長い間、ご提供いただいた山本洋品雑貨株式会社をはじめとする長者町の皆さん、積極的に展示スペースとしてご利用いただいた愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学、そして名古屋学芸大学の各大学、その他関係者の皆さんにお礼を申し上げます。

あいちトリエンナーレ実行委員会

フロア構成

4階／学芸ラボ(名古屋学芸大学が直接企画運営)

在校生、卒業生による作品展、助手、院生によるグループ展、大学合同展など様々な企画が展開された。

2～3階、地下1階／大学連携プロジェクト・あいちトリエンナーレ実行委員会による企画運営

あいちトリエンナーレ2013に向けての大学連携プロジェクトの拠点として、愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学による企画展示を実施。それ以外にも、あいちトリエンナーレ実行委員会主催で、この地域で活躍する若手アーティストの作品を展示する『ALA Project』を不定期に開催。その他、建築を学ぶ学生を対象として、テーマに沿ったプランを公募する『ALA 建築プロジェクト』や、愛知県のアートの動きを紹介する『ALA あいちの現代美術』、愛知県にとどまらず先端的な表現で活躍する若手アーティストを紹介する『ALA 現代の表現』といった展覧会を実施した。

1階／あいちトリエンナーレ情報スペース

あいちトリエンナーレの情報スペースとして、2010年の出品作家の資料、世界各地の芸術祭の書籍の紹介、2013年の最新情報の提供などを行った。また、『ALA Project』として、この地域で活躍する若手アーティストの活動を紹介する絵画展示プロジェクト等を行った。

アートラボあいちの活動記録

目次

02 アートラボあいちの前史

04 One day cafe

06 アートラボあいちのオープニング

07 ALA Project

18 ALA あいちの現代美術

19 ALA 現代の表現

21 ALA 建築プロジェクト

23 愛知県立芸術大学による展示 2012/02-2013/06

26 名古屋芸術大学による展示 2011/08-2013/07

31 名古屋造形大学による展示 2012/06-2013/07

33 NPOはち自主事業

38 名古屋学芸大学GAKUGEI-LABの展示 2011/08-2013/11

42 愛知芸術文化センターとの連携事業など

44 連携事業

46 長者町との連携

48 ワークショップ

49 あいちトリエンナーレ2013に向けて

49 三芸大との連携事業

50 あいちトリエンナーレ2013大学連携プロジェクト

56 「閉館のお知らせ」

あいちトリエンナーレ2010の終了後、長者町にはアートに関係するいくつかのNPOが誕生した。そうしたNPOは互いに連携をとりあって自発的に勉強会や交流会を行うとともに、アートラボあいちとして開館する前にも、この建物を使って外部に向けてイベントを行っていた。あいちトリエンナーレ2010の活動を振り返ることを中心にしつつも、県外からゲストを招聘し、愛知芸術文化センターや名古屋市美術館で開催している展覧会や公演とも連携したトークも行うなど、アート全般に関わる活動を行っていた。

『感じたことを、コトバに紡ぐ〜パフォーミングアーツ
その(1):パフォーミングアーツウェーブを題材に〜』
2011年1月29日(土)14:00~16:00
講師 | 唐津絵理(愛知県文化情報センター主任学芸員)

『公式カタログ出版記念パーティー』
2011年2月22日(火)19:00~20:30
ゲスト | 坪戸雅彦(あいちトリエンナーレ2010キュレーター)、
中西園子(あいちトリエンナーレ2010エディター)

『大西康明「体積の裏側」アーティストトーク』
2011年2月15日(火)19:00~21:00
ゲスト | 大西康明(アーティスト)
進行 | 中村史子(愛知県美術館学芸員)
協力 | 愛知県美術館

『「映画館から遠く離れて」上映会+トーク』
2011年2月24日(木)19:00~21:00
ゲスト | 山田 諭(名古屋市美術館学芸員)
進行 | 坪戸雅彦
主催 | あいちトリエンナーレ実行委員会事務局

内容 | あいちトリエンナーレ 2010で展示された、楊福東
(ヤン・フードン)の《離信之霧／ Dawn Mist, Separation
Faith 》は、18台の35ミリ映写機を同時使用する、特異な大
型インスタレーションだった。これは県内で活動する映写技
師などの技術者たちの全面的な協力がなければ実現でき
ず、結果、週末のみ屋間から夕方にかけてのみ上映されるプ
ロジェクトとなった。「映画館から遠く離れて」(監督:大橋雅
之)は、この特異な状況を記録したドキュメンタリー映画であ
る。上映会に合わせて、この映画内にも登場する山田諭氏を
招き、裏舞台の様子や楊福東(ヤン・フードン)の作品につい
ての話を伺った。

『名古屋市美術館での展示作品-1-
〜ジェラティン/フランチ・ヴェスト〜』
2011年2月12日(土)18:00~20:00
講師 | 笠木日南子(あいちトリエンナーレ2010キュレーター、
名古屋市美術館学芸員)

『あいちトリエンナーレ2010の展示空間を通して』
(トリ勉 vol.13)
2011年2月25日(金)19:00~21:00
講師 | 武藤 隆(あいちトリエンナーレ2010アーキテクト、
大同大学工学部准教授)

『地域フェスティバルを通してみる愛知の演劇
〜トリエンナーレからの展開〜』(トリ勉 vol.14)
2011年3月4日(金)19:00~21:00
ゲスト | 平松隆之(劇団うりんこ制作・日本のへそ演劇祭
プロデューサー)

『あいちトリエンナーレスペシャル対談
「トリエンナーレを通して愛知・名古屋を語る」』
2011年3月15日(火)19:00~21:00
ゲスト | 諏訪哲史(小説家)×建畠 哲(あいちトリエンナーレ
2010芸術監督)

内容 | あいちトリエンナーレ2010で天野天街氏演出によっ
て舞台化され、七ツ寺共同スタジオにて公演された小説「リ
すん」の作者諏訪哲史氏と、あいちトリエンナーレ2010芸術
監督の建畠哲氏を迎えてトークイベントを開催。数日前に起
こった東日本大震災の被害を受けとめて、「アートには何がで
きるのか」と題して、アートの可能性、そしてその不可能性につ
いて話を伺った。

『あいちトリエンナーレ2010を取り繕う』
(トリ勉 vol.15)
2011年3月22日(火)19:00~21:00
講師 | 坪戸雅彦
ゲスト | 中井康之(国立国際美術館主任研究員)

『「観ることから始めるアート・ライティング講座」
—アートを伝える力・基礎／アートと向き合う…自分・
他者を知ろう—』(トリ勉 vol.16)
2011年4月19日(火)、5月10日(火)、6月14日(火)
19:00~21:00
※合評会 | 2011年7月12日(火)19:00~21:00
カリキュラム作成・講師 | 亀田恵子(Arts&Thetre→Literacy)

『写真家・東松照明の魅力と見方』(トリ勉 vol.17)
2011年4月26日(火)19:00~21:00
講師 | 竹葉 丈(名古屋市美術館学芸員)

『「演劇」ってなんだろう? 今日(こんにち)からの視点
〜《わが星》作家、柴幸男氏に聞く〜』(トリ勉 vol.18)
2011年6月21日(火)19:00~21:00
講師 | 柴 幸男(劇作家・『ままごと』主宰)

『平山素子アーティスト・トーク』
2011年7月19日(火)19:00~21:00
ゲスト | 平山素子(ダンサー／あいちトリエンナーレ2010
参加作家)
進行 | 唐津絵理
協力 | 愛知県文化情報センター

特に記載のないものはすべて、主催 | あいちトリエンナーレ・
サポーターズクラブ(愛称:LOVEトリーズ)



『あいちトリエンナーレスペシャル対談
「トリエンナーレを通して愛知・名古屋を語る」』 イベント風景



「映画館から遠く離れて」上映会+トーク

日 時: 2011年2月24日(木) 19:00-21:00
場 所: 万壽5階1階 (名古屋市中区錦2丁目・1-0-30)
定 員: 100名(申込不要)
ゲスト: 山田諭 (名古屋市美術館学芸員)
進 行: 坪戸雅彦 (あいちトリエンナーレ 2010 キュレーター/愛知県美術館主任学芸員)

あいちトリエンナーレ 2010で展示された、楊福東 (ヤン・フードン) の《離信之霧/ Dawn
Mist, Separation Faith》、18 台の 35 ミリ映写機を使用した大型インスタレーションは、
館内で活動する映写技師など、多くの技術者たちの手によって実現されました。「映画館から
遠く離れて」(監督: 大橋雅之) は、この裏舞台を記録したドキュメンタリー映画です。
今回は上映会に合わせて、この映画内に登場する山田諭氏 (名古屋市美術館学芸員) をお招きし、
裏舞台の様子や楊福東 (ヤン・フードン) の作品についてのお話を伺います。

主催/問い合わせ
あいちトリエンナーレ実行委員会事務局
〒461-8525
名古屋市東区東町1-13-2 愛知県文化センター6階
あいちトリエンナーレ実行委員会事務局
TEL: 052-971-6113 FAX: 052-971-6115
E-mail: gsj@naka.pref.aichi.jp
Web: http://aichitriennale.jp/



『「映画館から遠く離れて」上映会+トーク』 チラシ表



『あいちトリエンナーレ2010を取り繕う』(トリ勉 vol.15) イベント風景

One day cafe

アートラボあいちとして正式オープンする前に一日限定で、作品展示、地下での上映会、パフォーマンスやプレゼンテーションを行い、一階ではセルフ・サービスのカフェを運営した。

1

2011年4月23日(土)

4F | エキシビションスペース

アニメーションプログラム（愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品）

石田尚志『フーガの技法』、辻直之『影の子供』、大山慶『HAND SOAP』

3F | エキシビションスペース

映像インスタレーション：平川祐樹《ささやきの奥に》

2011年 各1'30" / FULL HD

2F | エキシビションスペース

[愛知県立芸術大学在校生・卒業生作品展示] 猪狩雅則、木曾浩太、杉浦美奈子、多田圭祐、宮原あゆみ

1F | カフェ ワークショップスペース

「マイマグカップを造ろう!ワークショップ」

「きりこワークショップ」

協力 | こども陶器博物館

企画 | 長者町まちなかアート発展計画

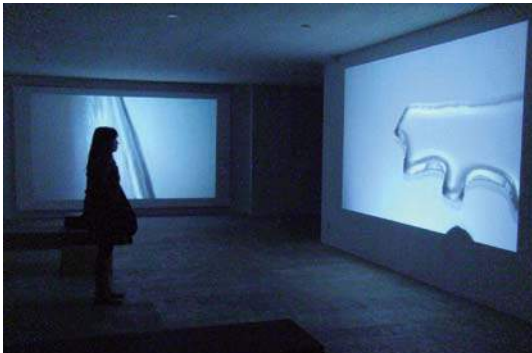
B1F | イベントスペース

[プレゼンテーションタイム] 安藤麻由子、一柳建築設計事務所（一柳亘）、GALLERY GOHON（鈴木雅明・田口美穂・金原研二・鈴木里奈・諏訪俊童・山内亮典）、中部リサイクル運動市民の会（永田秀和）、長者町アートアニュアル実行委員会（古谷萌子）、長者町まちなかアート発展計画（山田訓子）、名古屋シネマテーク（平野勇治）、セツ寺共同スタジオ（二村利之）、FLAT（森田恭平）

[パフォーマンスタイム] 伊藤愛+聖澤 聡、服部哲郎、三輪亜希子
[ライブタイム] 「アンブラグド・アミーゴス」：ジェット達、ジョセフ・アルフ・ポルカ、杉山明弘（from DOIMO!）、Nishide Takehiro、No go Aria、バーチャル・ジョンのサン、聖澤聡



『One day cafe #1』「きりこワークショップ」 イベント風景(1F)



『One day cafe #1』平川祐樹《ささやきの奥に》 展示風景(3F)

2

2011年5月28日(土)

4F | 映像作品展示

オリヴァー・ヘリング（あいちトリエンナーレ2010出品作家）
《ハワードストリート（飛行）》2007年、《ワテルローストリート》2007年、《リージェント公園での「ごっこ」遊び》2008年の3作品を上映

3F | 映像作品展示

水野勝規（あいちトリエンナーレ2010企画コンペ出品作家）
《island》2008年、《silent city》2007年、《surface》2007年、《sky line》2009年 を展示上映

2F | 作品展示

「Mark meets 3.」岩田真実、nic、澤菜里（名古屋芸術大学MCDコース）

1F | カフェ ワークショップスペース

「ペーパークラフトでアートバスを作ろう!」

企画：長者町まちなかアート発展計画×MOBIUM

「LOVEちくんを作ろう!」

キャラクター提供：斉と公平太

B1F | イベントスペース

[映像作品上映] 金子遊（上映後、作家によるアフタートークあり）

[プレゼンテーションタイム] アジト（岡田真太郎）、hinten（山本祐理子・児玉美香）、トリ勉（田中瑞穂）、GALLERY M（牧ゆかり）、大ナゴヤ大学・長者町ゼミ、NAGOYA DESIGN WEEK（稲波伸行）

[ライブ+パフォーマンスタイム] 鈴木由紀&堀寄ヒロキ、平尾義之+杉町明子、石川泰昭、フィリップ、Kaeline & 1980円（イチキュッパ）



『One day cafe #2』金子遊[映像作品上映] アフタートーク(B1F)



『One day cafe #2』[プレゼンテーションタイム] イベント風景(B1F)

3

2011年6月25日(土)

4F | 映像作品展示

さわひらき 家の内側—初期作品 2002-2003年
（《dwelling》、《elsewhere》、《airliner》、《spotter》、《migration》）を上映

3F | 作品展示

森田浩彰 《clockwise》2005-2008年を上映

2F | 作品展示

「上の空」展 "Space Out" 展覧会提案：渡辺英司

出品作家：川見 俊、加藤優一、小林真依、榊原由依、竹田尚史、小川健一、荒川朋子、小杉滋樹、タン・ルイ、木村充伯、中嶋佳秀、武田晋一、中村浩一郎、山田七菜子、中村 航、西野正将、小栗沙弥子、前川祐一郎、今村 文、堀田直輝、奥村梨沙、田島圭、福田良亮

1F | カフェ ワークショップスペース

「LOVEちくんをつくろう!」

キャラクター提供：斉と公平太

「はんだアクセサリーを作る会 長者町バージョン」

企画：秋葉原ネットワーク × 長者町まちなかアート発展計画

B1F | イベントスペース

[プレゼンテーションタイム] アンでパン、佐久島弘法プロジェクト3（学生チャレンジ企画 大学対抗リノベーション大会）、真夏の長者町大縁会、ART NAGOYA 2011、日本のへそ演劇祭実行委員会、建築学生団体ゼロワン、ハッカーズラボ「node」、名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」

[パフォーマンスタイム] afterimage、魂宮時+加代正規、ためパフォーマンス

[ライブタイム] 亀田暁彦、山田亮、平尾義之、葉っぱの裏側シスターズ



『One day cafe #3』「上の空」展 展示風景(2F)



『One day cafe #3』[パフォーマンスタイム] afterimage イベント風景(B1F)

アートラボあいちのオープニング

2011/08/21

あいちトリエンナーレ2010の開幕(2010/08/21)一年後に合わせ、アートラボあいちが正式オープンした。

アートラボあいち オープン 展覧会

愛知にゆかりのある若手作家や、若手作家によるフレッシュな作品を展示。

B1F | 若見ありさ《若見ありさアニメーション作品集 1992-2011》※1時間ごとに上映

1F | ジャンボスズキ ALA Project No.1

2F | 「密度I」―愛知県立芸術大学美術学部の在校生と卒業生による平面作品の展示 ALA Project No.2

3F | 名古屋芸術大学デザイン学部“メディア系”シリーズ 展示3 invisible loophole

4F | 名古屋学芸大学 GAKUGEI-LAB プレオープニング 企画 frame per second…アニメーションの瞬く速度



アートラボあいち オープン
チラシ



『名古屋芸術大学デザイン学部“メディア系”シリーズ展示3 invisible loophole』展 展示風景



アートラボあいち オープン
(左から:河村たかし/名古屋市長、大村秀章/愛知県知事、
山口兼市/八木株式会社代表取締役社長、
山本勝/山本洋品雑貨株式会社代表取締役)

「若見ありさアニメーション作品集 1999-2011」 B1F

会期 | 8月21日(日)、22日(月)(~9月25日(日)まで延長)

若見ありさ

愛知県生まれ

1998年 名古屋造形芸術大学美術学科
総合造形コース卒業

2000年 岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー(IAMAS)
アート&メディアラボ卒業

会期中の来場者数 | 1,202名



『若見ありさアニメーション作品集 1999-2011』展 展示風景

ALA Project

1Fで愛知県内で活動する、16人のペインターの活動を主として大型の作品で紹介した。アーティストによるトークも行われた。
拝戸雅彦が作家を選定。他、「密度」というコンセプトのグループ展、「古典」というコンセプトでの中堅作家三人の展覧会も行った。

ALA Project No.1

ジャンボスズキ

2011年8月21(日)~9月25日(日)

1980年 東京都生まれ

2007年 名古屋造形芸術大学
美術学科卒業

展示概要 | 絵画作品を2点展示

会期中の来場者数 | 1,262名



『ALA Project No.1 ジャンボスズキ』展 展示風景

ALA Project No.3

設楽 陸

2011年10月5日(水)~11月6日(日)

協力 | GALLERY M

1985年 愛知県生まれ

2008年 名古屋造形芸術大学
美術学科卒業

展示概要 | 絵画作品を1点展示

会期中のイベント | アーティストトーク

2011年10月8日(土)

会期中の来場者数 | 741名



『ALA Project No.3 設楽 陸』展 展示風景

ALA Project No.2

密度 | [愛知県立芸術大学美術学部の在校生と卒業生による平面作品の展示] 2F
2011年8月21日(日)～9月11日(日)

協力 | はち、愛知県立芸術大学美術学部
同窓会

出品作家 | 猪狩雅則、江上真織、遠藤俊治、
木曾浩太、坂本夏子、末むつみ、鋤柄ふくみ、
鈴木由衣、多田圭佑、前川佑一郎、宮原あゆみ

展示概要 | 愛知県立芸術大学の在校生や
卒業生の小品を展示。展覧会タイトルは「密
度」とし、「作品の質とそのサイズとは関係が
ない」、ということを単純に伝えようとした。作
品そのものに自らの身体と目を近づけてその
細部を凝視し、アーティストの腕をと手、そして
指の動きの痕跡を知ってほしいと考えた。以後、
名古屋造形大学、名古屋芸術大学と続く。

会期中の来場者数 | 1,262名



『ALA Project No.2 密度I』展 展示風景(2F)



『ALA Project No.2 密度I』展 展示風景(2F)

ALA Project No.5

鈴木雅明
2011年11月9日(水)～12月25日(日)

協力 | GALLERY GOHON

1981年 愛知県生まれ
2008年 愛知県立芸術大学大学院
美術研究科修了

展示概要 | 絵画作品を1点展示

会期中のイベント | アーティストトーク
2011年11月11日(金)18:00～19:00

会期中の来場者数 | 1,632名



『ALA Project No.5 鈴木雅明』展 展示風景

ALA Project No.7

今村 文
2012年1月7日(土)～2月19日(日)

1982年 愛知県生まれ
2008年 金沢美術工芸大学
油画科修士課程修了

展示概要 | 絵画作品を2点展示

会期中のイベント | アーティストトーク
2012年1月21日(土)15:00～16:00

会期中の来場者数 | 1,254名



『ALA Project No.7 今村 文』展 アーティストトーク

ALA Project No.4

古典

2011年10月14日(木)～11月6日(日)

協力 | はち、ケンジタキギャラリー、
Masayoshi Suzuki Gallery

出品作家 | 関智生、中條直人、吉本作次

展示概要 | 古今東西の古典的な美術に関心をもち、古典絵画の技術に対する関心と敬愛を失うことなく制作を続ける、この地域の中堅作家の三人展。

会期中の来場者数 | 533名



『ALA Project No.4 古典』展 中條直人 展示風景(2F)



関智生 展示風景(2F)



吉本作次 展示風景(2F)

ALA Project No.6

密度II

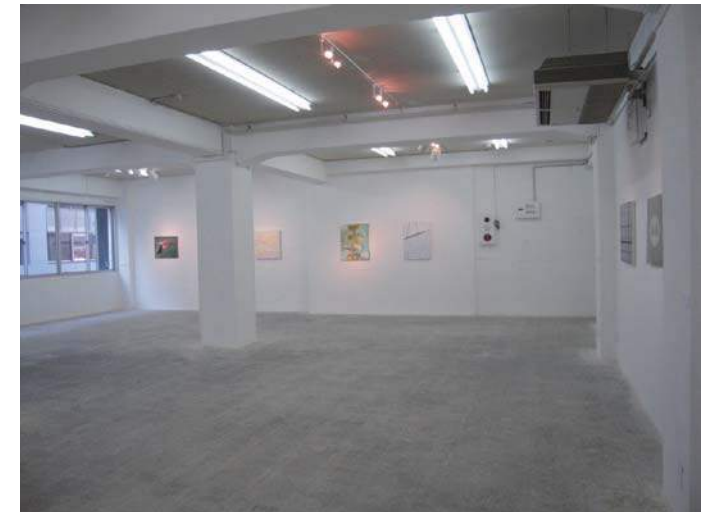
2011年12月7日(水)～2012年1月9日(月・祝)

協力 | はち

出品作家 | 荒川朋子、打田宗平、神田京子、
斎藤大二、塩原有佳、鈴木貴博、田島圭、
茶谷麻里、細川貴恵、水戸部七絵、山下拓也

展示概要 | 「密度I」に引き続き、「密度」のコンセプトで、名古屋造形大学の卒業生による平面の小品を集めた。

会期中の来場者数 | 857名



『ALA Project No.6 密度II』展 展示風景(2F)

ALA Project No.8

密度III

2012年1月25日(水)～2月12日(日)

協力 | はち

出品作家 | 伊藤歌奈子、牛田志織、及川裕子、
小原朋世、川上美里、三枝由季、坂柳光香、
坂本和也、佐竹美香、惣光美奈、田中桂、津田
由美子、寺田朋代、中尾慶一郎、野々村麻里、
畑温子、馬場智子、真峰英子、宮崎浩太、村
上紀世、森田佳奈

展示概要 | 「密度I」に引き続き、「密度」のコンセプトで、名古屋芸術大学在校生・卒業生による平面の小品を集めた。

会期中の来場者数 | 410名



『ALA Project No.8 密度III』展 展示風景(2F) 撮影：山田亘

ALA Project No.9

坂本和也

2012年2月22日(水)～3月31日(土)

1985年 鳥取県生まれ
2012年 名古屋芸術大学美術学部
美術学科洋画コース卒業

展示概要 | 絵画作品を3点展示

会期中の来場者数 | 1,445名



『ALA Project No.9 坂本和也』展 展示風景 撮影:山田亘

ALA Project No.10

畠山瑞規

2012年5月9日(水)～6月17日(日)

協力 | taimatz

1983年 広島県生まれ
2010年 名古屋芸術大学大学院美術研究科
美術専攻同時代表現研究領域修了

展示概要 | 絵画作品を4点展示

会期中のイベント | アーティストトーク
2012年5月24日(木)18:30～
(参加者数 | 13名)

会期中の来場者数 | 706名



『ALA Project No.10 畠山瑞規』展 アーティストトーク

ALA Project No.11

竹田尚史

2012年6月20日(水)～7月29日(日)

1976年 愛知県生まれ
2006年 名古屋造形芸術大学大学院
環境造形コース修了

展示概要 | 4点で1つの作品を展示

会期中のイベント | アーティストトーク
2012年6月30日(土)16:00～
(参加者数 | 8名)

会期中の来場者数 | 1,209名



『ALA Project No.11 竹田尚史』展 アーティストトーク

ALA Project No.12

鈴木貴博

2012年8月1日(水)～9月9日(日)

1984年 愛知県生まれ
2009年 名古屋造形大学卒業

展示概要 | 絵画作品を6点展示

会期中のイベント | アーティストトーク
2012年8月3日(金)18:30～
(参加者数 | 5名)

会期中の来場者数 | 1,139名



『ALA Project No.12 鈴木貴博』展 アーティストトーク

ALA Project No.13

山内亮典

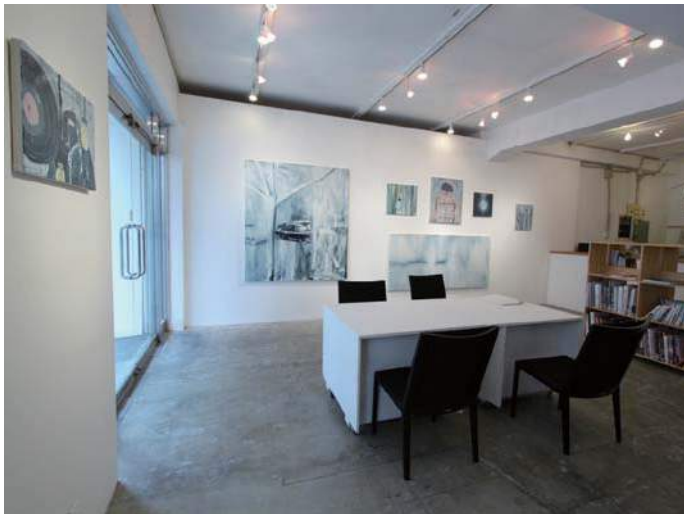
2012年9月12日(水)～10月21日(日)

1984年 三重県生まれ
2009年 名古屋造形大学卒業

展示概要 | 絵画作品を8点展示

会期中のイベント | アーティストトーク
2012年9月14日(金)18:30～
(参加者数 | 17名)

会期中の来場者数 | 1,261名



『ALA Project No.13 山内亮典』展 展示風景

ALA Project No.14

和田典子

2012年10月24日(水)～11月25日(日)

協力 | Yuka Sasahara Gallery

1980年 愛知県生まれ
2005年 京都市立芸術大学大学院美術研究科修了

展示概要 | 絵画作品を2点展示

会期中のイベント |
アーティストトーク
2012年10月26日(金)18:30～(参加者数 | 14名)
長者町えびす祭りワークショップ(於:繊維卸会館跡)
2012年11月10日(土)、11日(日)(参加者数 | 100名)
food installation 2012年11月25日(日)
15:00～17:00(参加者数 | 20名)
オープンスタジオ(於:えびすビルパート 2、2階)
2012年11月23日(金)～25日(日)

会期中の来場者数 | 1,191名



『ALA Project No.14 和田典子』展 [food installation] イベント風景

ALA Project No.15

齊藤大二

2012年11月28日(水)～2013年1月13日(日)

1983年 愛知県生まれ
2009年 名古屋造形大学大学院修了

展示概要 | 絵画作品を4点展示

会期中のイベント | アーティストトーク
2012年12月14日(金)18:30～
(参加者数 | 12名)

会期中の来場者数 | 1,044名



『ALA Project No.15 齊藤大二』展 展示風景

ALA Project No.16

猪狩雅則

2013年1月16日(水)～2月17日(日)

1975年 三重県生まれ
2004年 愛知県立芸術大学大学院
美術研究科油画専攻修了

展示概要 | 絵画作品を2点展示

会期中のイベント | アーティストトーク
2013年2月1日(金)18:30～
(参加者数 | 22名)

会期中の来場者数 | 1,065名



『ALA Project No.16 猪狩雅則』展 展示風景

ALA Project No.17
名知聡子
2013年2月20日(水)～3月24日(日)

展示協力 | Tomio Koyama Gallery

1982年 東京都生まれ
2005年 名古屋芸術大学美術学部卒業

展示概要 | 絵画作品を1点展示

会期中のイベント | アーティストトーク
2013年3月16日(土)18:30～
(参加者数 | 38名)

会期中の来場者数 | 1,338名



『ALA Project No.17 名知聡子』展 アーティストトーク

ALA Project No.18
森部英司
2013年4月10日(水)～5月12日(日)

1978年 愛知県生まれ
2001年 名古屋芸術大学美術学部卒業

展示概要 | 絵画作品を2点展示
会期中のイベント | アーティストトーク
2013年4月26日(金)18:30～
(参加者数 | 12名)

会期中の来場者数 | 1,046名



『ALA Project No.18 森部英司』展 展示風景

ALA Project No.19
池 奈千江
2013年5月15日(水)～6月16日(日)

1977年 愛知県生まれ
2003年 愛知県立芸術大学大学院
美術研究科油画専攻修了

展示概要 | 絵画作品を5点展示

会期中のイベント | アーティストトーク
2013年6月1日(土)14:30～
(参加者数 | 37名)

会期中の来場者数 | 1,170名



『ALA Project No.19 池 奈千江』展
《portrait》2012年、綿布に油彩、44.5×38.0cm 展示風景

ALA Project No.20
源馬菜穂
2013年6月19日(水)～7月21日(日)

1985年 長野県生まれ
2010年 愛知県立芸術大学美術研究科
美術専攻油画・版画領域修了

展示概要 | 絵画作品を4点展示

会期中のイベント | アーティストトーク
2013年7月6日(土)14:30～
(参加者数 | 25名)

会期中の来場者数 | 1,454名



『ALA Project No.20 源馬菜穂』展 展示風景

ALA あいちの現代美術

愛知県内での優れた現代美術のグループでの活動を紹介

ALA あいちの現代美術1 「プラスギャラリーの活動記録」 B1F 2012年5月3日(木)～27日(日)

協力 | +Gallery Project

展示協力者 | 高橋伸行、富永佳秀、平松伸之、伊藤里奈

展示概要 | 2003年から2009年まで、江南市にあった築100年以上の日本家屋を改装したギャラリーを拠点としたプラスギャラリーの活動を映像で紹介する展示。プラスギャラリーはアーティストたちが運営するオルタナティブスペースで、意欲的で実験的な作品を発表する他、国内外のプロジェクトとのネットワーク作り、若手アーティストの支援などを積極的に行ってきた。プラスギャラリーの前身である「art house七福邸」が1999年からギャラリーとして活用してきた建物は、2010年に再開発のため取り壊され、現在はスペースを持たない+Gallery PROJECTとして活動している。

+Gallery Project メンバー | 高橋伸行、富永佳秀、平松伸之

会期中の来場者数 | 395名



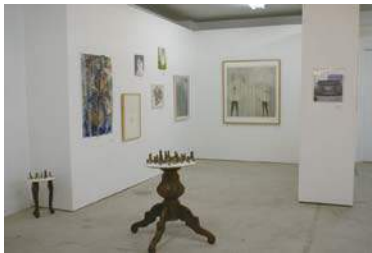
『ALA あいちの現代美術1「プラスギャラリーの活動記録」展 展示風景(B1F)

ALA あいちの現代美術2 「GALLERY GOHON 活動紹介」 B1F 2012年8月22日(水)～9月16日(日)

出品作家 | 猪狩雅則、池奈千江、伊藤歌奈子、伊藤里佳、遠藤美香、大崎高裕、川見俊、木曾浩太、木下拓也、金原研二、久保智史、栗本百合子、佐野友美、設楽知昭、清水鮎美、鋤柄ふくみ、鈴木貴博、鈴木雅明、鈴木里菜、杉山健司、諏訪俊童、高田裕大、田口美穂、谷川享史、茶谷麻里、寺脇扶美、徳重道朗、富永敏博、中嶋佳秀、永田浩子、西尾早苗、長谷部勇人、久常未智、富谷悦子、藤永覚耶、藤永智子、文谷有佳里、前川宗睦、前畑裕司、松原智子、村田仁、安原弘高、山内亮典、吉田葵、渡辺亜希子、渡辺英司

展示概要 | 2010年11月から2年間限定で、名古屋市名東区社が丘にて、アーティスト自身が運営と企画をしたスペースである「GALLERY GOHON」のメンバーと、これまで関わりをもった作家による展覧会を開催。

会期中の来場者数 | 784名



『ALA あいちの現代美術2「GALLERY GOHON 活動紹介」展 展示風景(B1F)

ALA 現代の表現

愛知県内にとどまらず、ユニークな現代美術の表現活動を紹介

ALA 現代の表現1(前期) 「前谷康太郎」 B1F 2012年5月30日(水)～6月10日(日)

協力 | STAR PROJECT

1984年和歌山県生まれ。東京外国語大学外国語学部卒業。

IMI／総合映像大学卒業。

展示概要 | プロジェクターによる映像作品の展示、ブラウン管テレビ2台による映像作品の展示。

会期中の来場者数 | 293名



『ALA 現代の表現1(前期)「前谷康太郎」展 展示風景(B1F)

ALA 現代の表現1(後期) 「中村航 西野正将 ボン靖二」 B1F 2012年6月14日(木)～24日(日)

協力 | STAR PROJECT

出品作家 | 西野正将、中村航、ボン靖二

西野正将／1982年生まれ。東京在住。

東京芸術大学美術研究科先端芸術表現修士課程修了

中村航／1981年生まれ。大阪府在住。

東京芸術大学美術研究科先端芸術表現修士課程修了

ボン靖二／1983年生まれ。大阪府生まれ。

京都教育大学造形表現卒業。

展示概要 | 中村の絵画、西野の映像作品と写真作品の展示、ボンによるインスタレーションを展開。

会期中の来場者数 | 173名



『ALA 現代の表現1(後期)「中村航 西野正将 ボン靖二」展 展示風景(B1F)



ALA建築プロジェクト

あいちトリエンナーレ2013の芸術監督が建築批評と建築史の五十嵐太郎氏ということもあり、建築に特化したプロジェクトを行った。

ALA建築プロジェクト

「建築学生の挑戦 都市と空き地 Vol.1」 2F, 3F

2012年7月25日(水)～8月19日(日)

企画・運営 | オフィス・マッチング・モウル

展示概要 | 実在する長者町の空き地をモデルにした空間活用の可能性を、建築を学ぶ学生達が模型とパネルによって提案し、都市の空き地について考えた。その中から、あいちトリエンナーレ2013芸術監督五十嵐太郎氏が優秀作品を選定。

参加大学 | 愛知工業大学(中井研究室)、愛知淑徳大学(清水研究室)・(日色研究室)、椙山女学園大学(橋本雅研究室)、大同大学(中島研究室)、名古屋大学(恒川研究室)、名古屋市立大学(向口研究室)、名古屋工業大学(伊藤研究室)、名城大学(谷田研究室)

会期中のイベント |

参加学生によるプラン説明会

2012年8月4日(土)15:00～17:00(参加者数 | 43名)

五十嵐太郎氏による講評・優秀作品表彰

2012年8月10日(金)17:00～18:30(参加者数 | 45名)

優秀作品(五十嵐太郎選定)

【最優秀賞】「空し場」名城大学 谷田研究室

【2位】「depth-都市の奥行き性の演出-」

名古屋大学 恒川研究室

【3位】「Surround-Scape-風景を接続する周縁空間」

名古屋工業大学 伊藤研究室

【オーディエンス賞】「Surround-Scape-風景を接続する周縁空間」名古屋工業大学 伊藤研究室

会期中の来場者数 | 768名

ALA 現代の表現2

「Interviews ―話すこと・聞くこと・みること―」 B1F

2012年7月25日(水)～8月19日(日)

協力 | IAMAS

出品作家 | 池田泰教、鈴木光、齋藤正和、高成勲

展示概要 | インタビューという形式から出発した新たなイメージ群。IAMAS出身の作家達によるドキュメンタリー映像を上映した。池田泰教《土の人 3Portraits》2009年、鈴木光《Ms. S》2011年、齋藤正和《動の影 岩下徹というからだ》2008年、高成勲《胎夢》2012年

会期中の来場者数 | 768名



『ALA 現代の表現2「Interviews ―話すこと・聞くこと・みること―」展 展示風景(B1F)

ALA 現代の表現3

「うたかた」 B1F, 1F

2012年9月22日(土)～10月14日(日)

協力 | うつせみ展実行委員会

出品作家 | 今村遼佑、碓井ゆい、大船真言、越野潤、近藤洋平、寺田就子、森川穰、森太三

展示概要 | 小牧市にある「常懷荘」で開催された『うつせみ』展のサテライト会場として展示を実施。

会期中のイベント | アーティストトーク

2012年9月22日(土)18:30～(参加者数 | 15名程度)

会期中の来場者数 | 755名



『ALA 現代の表現3「うたかた」』展 展示風景(1F)



「ALA 建築プロジェクト「建築学生の挑戦 都市と空き地」展 テラシ表



「空し場」名城大学谷田研究室 展示風景(3F)



「カプトムシノモリ」大同大学中島研究室 展示風景(2F)



イベント風景(1F)

ALA建築プロジェクト

「建築学生の挑戦 都市と空き地 Vol.2」 2F, 3F

2012年8月22日(水)～9月16日(日)

企画・運営 | オフィス・マッチング・モウル

展示概要 | Vol.1に引き続き、実在する長者町の空き地をモデルにした空間活用の可能性を、建築を学ぶ学生たちが模型とパネルによって提案した。その公募展を全国の大学へ向けても開催。五十嵐太郎氏が選出した優秀6作品の模型と佳作作品のコンセプトシートを展示した上で、さらに優秀6作品の中から最優秀賞から3位までを選定した。

参加大学(制作者) | 優秀作品(模型作品の展示)／琉球大学(大城彦樹、國定義弘、久保田航、城間盛久、天願紗野、山田織部)、東北大学(北向志保、向山佳穂)、大阪工業大学大学院(阪口裕也、湯浅順)、東京理科大学大学院(佐藤聖)東京理科大学大学院(田澤孝祐)、日本大学大学院(松井創斗、辻普、堤昭文)

佳作(コンセプトボードパネル展示)／工学院大学(垣中智博、河邊真、福富健司)、北九州市立大学大学院(高島英朗)、名古屋工業大学(成田康輔、松本拓也)、北海道工業大学(山下竜二)

応募総数 | 23作品。優秀作品6点と佳作作品4点を選出した。

優秀作品(五十嵐太郎選定)

【最優秀賞】「蓄積する都市」田澤孝祐／東京理科大学大学院

【2位】「器の表情」佐藤聖／東京理科大学大学院

【3位】「自然の時間 | 都市の時間」松井創斗、辻普、堤昭文／日本大学大学院

【オーディエンス賞】「蓄積する都市」 田澤孝祐／東京理科大学大学院

(募集期間 | 8月22日(水)～9月7日(金)、発表 | 9月8日(土))
建築系ラジオ賞 | Vol.1の優秀作品3点とvol.2の優秀作品6点の中から選出

【倉方俊輔賞】「器の表情」 佐藤聖／東京理科大学大学院

【北川啓介賞】「蓄積する都市」 田澤孝祐／東京理科大学大学院

【南泰裕賞】「Surround-Scape-風景を接続する周縁空間」
名古屋工業大学 伊藤研究室【彦坂尚嘉賞】「Fade-in —消える虚像／生まれる町並み—」
阪口裕也、湯浅順／大阪工業大学大学院

会期中の来場者数 | 784名

『ALA 建築プロジェクト「建築学生の挑戦 都市と空き地 Vol.2」展
「自然の時間 | 都市の時間」日本大学大学院(松井創斗、辻普、堤昭文) 展示風景(2F)

展示風景(2F)



イベント風景(2F)

「わたしのかみさま」 B1F, 2F

2012年9月21日(金)～10月14日(日)

出品作家 | 2階／甚田剛史、内藤瑠里、金森愛加、宇田もも、
谷口智宏、小林知史・古泉亜里紗・増田里穂・前田里那・
藤谷純澄佳、高橋昂也、大竹美咲・倉谷こはる、武藤彩織・
富澤歩惟子地下1階／日下部任良、野呂有我、しいちゃん、山田亮、宮下彩、
高山葉子、ラフモート、池田萌、橋本歩

展示概要 | 美術学部と音楽学部の学生、卒業生による
体験・交流型の展覧会。会期中は各々の「かみさま」をテーマ
とした儀式、祈り、御神体、祝祭を、時に厳粛に時にパロディ
としておこない、パフォーマンスやアーティストと鑑賞者との交
流などを試みた。

会期中のイベント |

オープニングパフォーマンス

9月21日(金)17:30～19:00

日下部任良、コシバ食堂、しいちゃん(参加者数 | 20名)

クロージングパフォーマンス

10月14日(日)17:30～19:00

日下部任良、コシバ食堂、日置菜津美(参加者数 | 20名)

アーティスト・トーク

9月22日(土)15:00～

高山葉子、日下部任良、池田萌、宮下彩、しいちゃん

(参加者数 | 20名)

9月23日(日)17:00～

高山葉子、日下部任良、池田萌、宮下彩(参加者数 | 10名)

9月29日(土)17:00～

ラフモート、池田萌(参加者数 | 15名)

9月30日(日)17:00～

ラフモート、池田萌(参加者数 | 不明)

10月6日(土)15:00～

野呂有我、山田亮(参加者数 | 不明)

10月7日(日)17:00～

野呂有我(参加者数 | 不明)

10月13日(土)17:00～

橋本歩、宮下彩、しいちゃん(参加者数 | 15名)

10月14日(日)15:00～

橋本歩、宮下彩、山田亮(参加者数 | 15名)

会期中の来場者数 | 803名



『わたしのかみさま』展 イベント風景(B1F)



イベント風景(1F)



展示風景(2F)

「BOWLS, Atlantic -ユノ-」 B1F

2012年10月20日(土)～11月11日(日)

出品作家 | BOWLS -器の音楽-/高山葉子、安田奈央
Atlantic -ユノ-/安田奈央

展示概要 | 白磁の「器」を用いた音楽パフォーマンスの短編集。2011年瀬戸内国際芸術祭の後続イベントにて香川県女木島にて「器の音楽」のパフォーマンスを公演した際の記録映像等の上映と、パフォーマンスに使用している白磁の器をインスタレーション展示。1階では新作のパフォーマンス公演「Atlantic -ユノ-」を実施した。

会期中のイベント |
パフォーマンス

2012年10月20日(土)15:00(参加者数 | 10名)

10月27日(土)17:00(参加者数 | 10名)

11月3日(土)15:00(参加者数 | 6名)

11月10日(土)17:00(参加者数 | 30名)

会期中の来場者数 | 674名



『BOWLS, Atlantic -ユノ-』展 イベント風景(1F)



展示風景(B1F)

「音の万華鏡-kaleidoscope of sounds-」 3F

2012年10月20日(土)～11月11日(日)

出品作家 | 石川泰昭、中川丘

展示概要 | 万華鏡を覗き込んだかのような世界を鑑賞者が味わうことができるサウンドインスタレーションの展示。

会期中の来場者数 | 674名



『音の万華鏡-kaleidoscope of sounds-』展 展示風景(3F)

「彩展」 3F

2012年12月12日(水)～23日(日)

出品作家 | 上村文香、今井美佳、田口由花、田中藍衣、田中信太郎、岩田明子、片山陽介、菊池円、河本真里、佐久間友香、石川真綾、石田詩織、佐藤美奈子、斎藤安見子、山田大空、倉田明佳、横山奈穂子、安田渉、新居俊浩、大島亜弓、田尻彩花、足立涼、高津ゆい、早川実希、廣瀬里穂、鵜飼聡子、原祥子

展示概要 | 愛知芸大芸術祭での学内公募展「ばるけ」で選ばれた作品を展示。

会期中の来場者数 | 353名



『彩展』 展示風景(3F)

「落石計画クロニクル2008-2015」 B1F, 2F, 3F

2013年3月10日(日)～31日(日)

出品作家 | 3階 / 池田良二、井出創太郎、高浜利也
2階 / 「落石計画」(対話空間＝茶室)のインスタレーション:
井出創太郎、高浜利也

地下1階 / 落石計画に関わった作家たち: 青木加奈、明石真有美、赤本啓護、浅野絵理、阿部大介、安齋歩見、猪狩雅則、岩瀬晴香、鵜飼聡子、遠藤美香、大杉好弘、金島英輝、木曾浩太、北嶋勇佑、木村瞳、小柴一浩、酒井阿弥子、坂本有希、貞包将彦、佐藤琢巳、佐藤美奈子、三波千恵、杉田萌菜美、瀬川麻衣子、鷹野健、瀧千尋、立花泰香、田中彰、田中恵美、田中元偉、谷村彩、塚本暁宣、東条香澄、富岡奏子、中川杏美、中山志野、成田亜衣子、新聞陽香、馬場かおり、原祥子、日比野絵美、藤永寛耶、松下佳史、松村かおり、宮澤孝文、本村祥子、森勢津美、矢島与萌、山田大空、山本美晴、吉田悠希

展示概要 | 根室半島落石(おちいし)岬に佇む旧落石無線送信局を舞台とし、2008年に始動した「落石計画」のこれまでとこれから。

会期中の来場者数 | 751名



『落石計画クロニクル2008-2015』展 展示風景(B1F)



展示風景(3F)

「キュービクミュージアム・プロジェクト+α」 2F, 3F

2013年6月5日(水)～15日(土)

出品作家 | 3階 / キュービクミュージアムプロジェクト、谷村彩、源馬菜穂、後藤あこ
2階 / 寺内曜子

展示概要 | キュービクミュージアム・プロジェクトの紹介と寺内曜子の個展、源馬菜穂、後藤あこ、谷村彩のグループ展

会期中の来場者数 | 529名



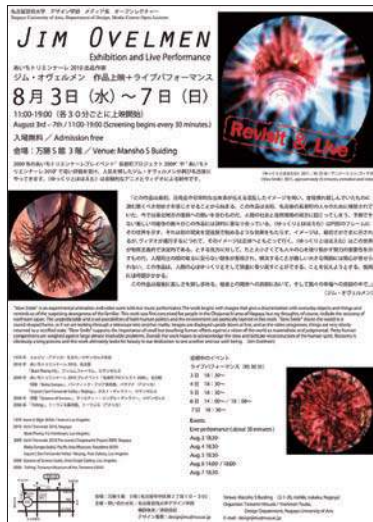
『キュービクミュージアム・プロジェクト+α』展 展示風景(3F)



寺内曜子 展示風景(2F)

「名古屋芸術大学デザイン学部“メディア系”シリーズ展示1 ジム・オヴェルメン作品上映」 3F 2011年8月3日(水)～7日(日)

展示概要 | ジム・オヴェルメンの新作の映像作品の展示を実施した。会期中には、ジム・オヴェルメンによるパフォーマンスとレクチャーが行われた。



『名古屋芸術大学デザイン学部“メディア”系シリーズ展示1
ジム・オヴェルメン作品上映』展 チラシ表

「名古屋芸術大学デザイン学部“メディア系”シリーズ展示2 学生展示 MCD①」 3F 2011年8月10日(水)～14日(日)

展示概要 | 名古屋芸術大学デザイン学部メディアコミュニケーションデザインコースの学生による写真、ドローイング、版画、絵画、インスタレーション、アニメーションなどの作品が展示された。

「名古屋芸術大学デザイン学部“メディア系”シリーズ展示3 invisible loophole」 3F 2011年8月19日(金)～27日(土)

出品作家 | 岡川卓詩、河原崎貴光、前川宗睦、浅井雅広、大谷梨亜子
展示概要 | 名古屋芸術大学を修了後、メディアアートの世界で活躍するOBと、大学院生による作品を展示した。期間中には、ギャラリートークも開催された。



『名古屋芸術大学デザイン学部“メディア系”シリーズ
展示3 invisible loophole』展 展示風景(3F)

「名古屋芸術大学デザイン学部“メディア系”シリーズ展示4 学生展示MCD②」 3F 2011年8月31日(水)～9月4日(日)

展示概要 | 名古屋芸術大学デザイン学部メディアコミュニケーションデザインコースの学生による写真、ドローイング、版画、絵画、インスタレーション、アニメーションなどの作品が展示された。

「名古屋芸術大学デザイン学部“メディア系”シリーズ展示5 学生展示MMD①」 3F 2011年9月8日(木)～15日(木)

展示概要 | 名古屋芸術大学デザイン学部メディアデザインコースの学生、OB/OGによる作品が展示された。

「名古屋芸術大学デザイン学部“メディア”系シリーズ展示6 The Art Book shop MCD」 3F 2011年9月18日(日)～10月2日(日)

展示概要 | 名古屋芸術大学デザイン学部メディアコミュニケーションコースの学生によって作成された本の展覧会を実施した。また、会場では制作した本を希望者に有料で配布した。会期中には、ゲストとしてブックデザイナーの祖父江慎氏による講演会も行われた。



『名古屋芸術大学デザイン学部“メディア系”シリーズ
展示6 The Art Book shop MCD』展 展示風景(3F)



展示風景(3F)



公開講座(ゲスト:祖父江慎)(B1F)

「名古屋芸術大学洋画2コース&大学院同時代研究〈洋画〉企画 neWs 展」前期 3F 2011年12月3日(土)～14日(水)

出品作家 | 浅井雅弘、河村るみ、西山弘洋、宮崎浩太、森智弘、和田典子
展示概要 | 「neWs」というプリントを不定期に発行し、在校生や卒業生たちのアートな活動をほうじている名古屋芸術大学洋画2コース&大学院同時代表現研究〈洋画〉。今回は、その紙面から展示空間へと形を変え、研究室の動きを作品展示やイベントによって紹介。



『名古屋芸術大学洋画2コース&大学院同時代研究〈洋画〉企画
neWs 展』前期 展示風景(3F)

「名古屋芸術大学洋画2コース&大学院同時代研究〈洋画〉企画 neWs 展」後期 3F 2011年12月16日(金)～25日(日)

出品作家 | 井上信也、佐々木憲介、名知聡子、畠山瑞規、前川宗睦、水野里奈、山本理恵



『名古屋芸術大学洋画2コース&大学院同時代研究〈洋画〉企画
neWs 展』後期 展示風景(3F)

「清水ハウス岐阜店設課×名古屋芸術大学スペースデザインコース3年生 いえづくりのかたち展」 3F 2012年2月23日(木)～26日(日)

展示概要 | 名古屋芸術大学スペースデザインコースの学生が、清水ハウスでの家づくりを選んだ施主に対して提案した家の模型を展示した。

「名古屋芸術大学デザイン学部“メディア系”シリーズ展示7」 3F 2012年3月3日(木)～14日(水)

出品作家 | 稲積大地(院1)、加藤靖之(院1)、小林亜耶佳(院1)、菅沼朋香
展示概要 | 名古屋芸術大学デザイン学部大学院1年生による作品を展示した。

「名古屋芸術大学デザイン学部“メディア系”シリーズ展示8」 3F 2012年3月16日(金)～31日(土)

出品作家 | 竹内創、津田佳紀、櫃田珠実
展示概要 | 名古屋芸術大学デザイン学部教員による作品を展示した。

「View 明日への扉」展 B1F, 3F
2012年6月27日(水)～7月22日(日)

出品作家 | 3階／福岡寛之、馬場智子、伊藤歌奈子、森部英司、荒木由香里、田中桂、田中里奈、坂柳光香、萬未来子、宇佐見まりえ
地下1階／上村静、松尾侑香、伊藤里佳、真坂亮平、犬飼真弓
展示概要 | 名古屋芸術大学を近年に卒業後、現代アートの分野で活動している、また活動しつつある若手アーティスト15名にスポットをあてて紹介した展覧会。

会期中のイベント |
オープニング
2012年7月1日(日)17:00～19:00(参加者数 | 60名程度)
アーティスト・トーク 14:00～16:00(全日)
2012年7月1日(日)[伊藤歌奈子、犬飼真弓、福岡寛之、真坂亮平](参加者数 | 30名)
2012年7月8日(日)[荒木由香里、伊藤里佳、宇佐見まりえ、坂柳光香、田中桂](参加者数 | 30名)
2012年7月15日(日)[田中里奈、馬場智子、松尾侑香、森部英司、萬未来子、上村静](参加者数 | 30名)

会期中の来場者数 | 949名



「View 明日への扉」展 展示風景(3F)



アーティスト・トーク(3F)

「re-design 2000-2012」 2F
2012年11月14日(水)～25日(日)

協力 | 大口北小学校、大口南小学校、六貫山保育園、株式会社サイトーウッド、株式会社天童木工、デザイン学科卒業生
出品作家 | furniture／杉下陽輝、田淵林太郎、金子拓磨、川合泰平、Kevin Courtois、小澤依里、氏田英里、佐藤情美、山田梨紗、林詩乃、加藤瞳、荒木まさかず、平田哲生
goods／浅岡秀亮、佐藤友哉、伊藤龍、松尾祐弥、平野龍己、田村佳崇、小島康平、社本真里、稲垣美帆、浅海美帆、山崎郁美、伊藤杏子、大西功起、神谷修平
work shop／服部隼弥
映像制作／浅岡秀亮、加藤央理絵、Romain Olivire Thieulot、SDコース卒業生 2006-2012
web制作／加藤央理絵
展示概要 | リサイクル&デザインという視点で、既存のものや材料を優れたデザインで別のものに変える課題で制作された作品を展示した。

会期中のイベント | デザイナートーク
2012年11月16日(金)17:30～(参加者数 | 30名)
ワークショップ 2012年11月14日(水)～25日(日)
※展示期間中に展示会場にて自由参加

会期中の来場者数 | 604名



「re-design 2000-2012」展 チラシ表



展示風景(2F)

「漸近線」展 3F
2012年11月16日(金)～12月9日(日)

企画 | 清水梓
協力 | island JAPAN
出品作家 | 磯部一郎、水谷一
展示概要 | 注意深く観察しなければ見逃してしまう、かすかでも明らかな影響の受け合いをみせた。
会期中のイベント | オープニングレセプション
2012年11月16日(金)18:30～

会期中の来場者数 | 1,019名



「漸近線」展 チラシ表



展示風景(3F)

「ウ・ラジオストック博物館」 B1, 1F
2012年11月17日(土)～12月9日(日)

総括 | 大崎正裕
企画・運営 | 浅井雅弘、岡川卓司、河村るみ、福岡寛之、前川宗睦、村田仁、山田梨紗
サウンド | IHONO
チラシ・ロゴデザイン | 石川幸治
計画 | 「仮説」・構想領域研究室
協力 | アートセンター[Yojo-Han]、AMR、kapsel
展示参加者数(ウ・ラジオストック博物館出品者) | 31名

展示概要 | 地下1階にて、ウ・ラジオストック博物館の展示室を設置し、参加者より募集したウラ話があるものとそのウラ話を録音したボイスレコーダーを展示。また、参加者自ら出演し、作品とウラ話を紹介している動画がプロジェクション展示された。内容は、参加者が増える毎に更新されていった。その他、古いテレビやラジオからはウ・ラジオストック博物館のテーマソングやコマーシャルが流れていた。会期中に実施された「ウ・ラジオ」と「ウ・TV」では、1階のカウンター内にスタジオを設置し、公開放送を行った。

会期中のイベント |
オープニングレセプション 2012年11月18日(日)18:00～(参加者数 | 30名)
コレクション収集ワークショップ 2012年11月17日(土)、18日(日)、23日(祝)、12月2日(日)各日13～18時
ウ・ラジオ 2012年12月8日(土)15～18時
ウ・TV 2012年12月9日(日)15～18時

会期中の来場者 | 926名



「ウ・ラジオストック博物館」展 チラシ表



展示風景(B1F)

「土と人のデザインプロジェクト展—ゼロから晩餐会をデザインする—」 2F
2012年11月28日(水)～12月9日(日)

後援 | 名古屋芸術大学後援会
協力 | 北名古屋市徳重地域の皆さん
展示概要 | 大学周辺のリサーチで出会った人々や地域の資源を元に開催された「一夜限りの小さな晩餐会」。
このプロジェクトの一部始終をドキュメントとして展示した。
会期中のイベント | 総評会
2012年12月4日(火)13:00～14:00(参加者数 | 30名)
※休館日の開催のため、臨時開館し関係者のみ参加した。
会期中の来場者数 | 463名



『土と人のデザインプロジェクト展—ゼロから晩餐会をデザインする—』 チラシ表

「MEIGEI NEW PLAN 2013 young face part1」 3F
2013年2月7日(木)～17日(日)

出品作家 | 鶴飼友梨香、大崎祥平、加藤真珠美、近藤夕琴、中里洋介、滝沢美穂、濱口綾乃、山口渚
展示概要 | 名古屋芸術大学美術学部洋画コースの2年生、3年生8名による絵画作品の展覧会を実施した。
会期中の来場者数 | 506名



『MEIGEI NEW PLAN 2013 young face』展 チラシ表



展示風景(3F)

「MEIGEI NEW PLAN 2013 young face part2」 3F
2013年2月21日(木)～3月3日(日)

出品作家 | 浅井和真、伊藤大作、稲垣あゆみ、梅村隼人、杉田一紗、谷本愛、福原穂奈美、船戸彩子
展示概要 | 名古屋芸術大学美術学部洋画コースの2年生、3年生8名による絵画作品の展覧会を実施した。
会期中の来場者数 | 513名

「Butterfly Hug バタフライ ハグ」 2F, 3F
2013年6月20日(木)～7月7日(日)

出品作家 | 2階 / 大崎正裕、岡川卓詩、D.D(今村哲+染谷亜里可)、村田仁、横山豊蘭
3階 / 河原崎貴光、小柳裕、杉浦光、須田真弘、名和聡子、畠山瑞規、山田亘、横内賢太郎、吉本作次、和田典子
展示概要 | 蝶が羽ばたくことが要因なのか、はるか遠くで不思議な現象が起る。それは、絵画の他、様々な媒体を駆使した、16名の作家による作品展の意味するところ。
会期中のイベント | ウ・ラジオ in バタフライハグ
2013年6月22日(土)16:00～19:00(Ustream音声放送)
オープニング 2013年6月22日(土)18:00～19:00
会期中の来場者数 | 858名



『Butterfly Hug バタフライ ハグ』展 展示風景(3F)



展示風景(2F)

名古屋造形大学による展示

2012/06-2013/07

「TRANSIT 2012 現代美術国際交流展 PRE-EXHIBITION 名古屋⇄中国」 3F
2012年6月27日(水)～7月22日(日)

出品作家 | 香港バプティスト大学視覚芸術院 / Chan Wing-Lam, Rosette, Chan Yuet-Yi, Cherry, Cheung Tung-Nam, Winky, Chiu Yu-Kan, Kenny, Ip Wing-In, Jada, Lau Man-Pan, Jeff, Lee, Sze-Yu, Kristy, Li Ka-Lee, Carrie, Liu Yan-Yan, Annie, Siu Mei-Ki, Katie, Wong Sin-Yu, Yeung Pik-Ki, Jovial
紅河学院美術学院(雲南省) / LONGMENGXIA, SHIBAOYAN, ZHANGDONG, WANGXIAOLING, ZHANGRUNHUA, WUXIAOCHUN, LIRUILANG, QINGCHAOJUN, ZHANGMEI, SUNYUFANG, KONGMING, GAOYUANFEI

展示概要 | 「TRANSIT」というシリーズタイトルは、2001年に名古屋造形大学とデュッセルドルフ芸術アカデミーとの間で行われた国際交流展で初めて用いられた。作品がお互いの国々を通して理解を深めていくという意味合いが込められていたこの名称は、その後も使い続けられ、共催する大学の学生間に強い絆を作ってきた。展示される作品はスーツケースで運べる小さなものや、現地で組み立てが可能なもの、あるいはその国の環境でしか制作できないものなど様々である。共催する大学の条件や外国語でのコミュニケーションを通して、参加する学生が新しい体験をする。このTRANSITは次世代の人材育成を目指す実践プロジェクトとして位置づけられている。

公開プレゼンテーション 2012年9月29日(土)13:00～16:00(参加者数 | 20名)来年3月の香港での国際交流展参加学生が参加

会期中の来場者数 | 803名



『TRANSIT 2012 現代美術国際交流展 PREEXHIBITION 名古屋⇄中国』展 展示風景(3F)



展示風景(3F)

「吉岡俊直 リビング」 2F
2012年10月20日(土)～11月11日(日)

出品作家 | 吉岡俊直
展示概要 | 京都府京丹後市峰山町にある作家本人の実家の居間を舞台にプロジェクターを4台使い空間全体にインсталレーションした。
会期中の来場者数 | 674名



『吉岡俊直 リビング』展 チラシ表



展示風景(2F)

「CRASH×BUILD」 B1, 2F
2013年2月10日(日)～3月3日(日)

企 画 | 吉岡俊直、田中由起子
出品作家 | 板谷奈津、近藤サヨコ、斉と公平太、設楽陸、
ジャンボスズキ、鈴木雅明、高須健市、タン・ルイ、原田章生、
古沢和宏、水野勝規、吉田葵、若子jet
展示概要 | 名古屋造形大学を卒業後、CRASH×BUILDを
続ける13名の活動にスポットを当てながら、アーティストがな
すべきことを展望した。
会期中のイベント | クロストーク
2013年2月24日(日)15:00～17:00(参加者数 | 36名)

会期中の来場者数 | 1,044名



「CRASH×BUILD」展 展示風景(2F)

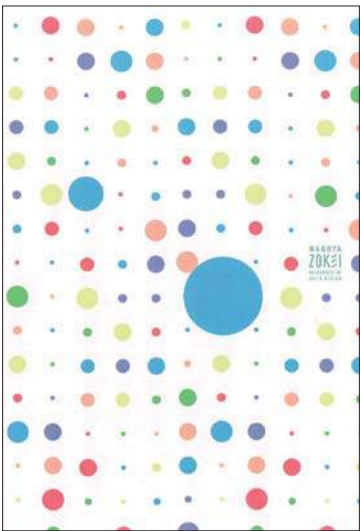


展示風景(B1F)

「星・侵略 インスタレーション」 2F
2013年7月14日(日)～28日(日)

出品作家 | 城美里、廣瀬美穂、伏屋茜、村田晶生(名古屋
造形大学コンテンツポラリーアートコース1年)
展示概要 | 名古屋造形大学で行われた学内公募によって
選定された企画。インスタレーション。

会期中の来場者数 | 550名



『星・侵略 インスタレーション』展 ハガキ

NPOはち自主事業

NPO「はち」はアートラボあいちがオープンした2011年度にその企画と運営に関わった。

「ポートフォリオ・ミーティング #1」 B1F
2011年10月1日(土)

内 容 | 作家が自らの言葉で制作活動や作品についてプ
レゼンテーションすることで、活動のチャンスを広げ、またキュ
レーターとの意見交換を通して自作を再確認する場を目指し
た。観客にとっては、作品を鑑賞するだけでなく、作家の生の
声を聞き、作品への理解を深め、作家の仕事とはどのようなこ
とかを学ぶ機会とした。プレゼンテーションは、1作家7分とし、
その後コメンテータとの意見交換を約3分とした。来場者には、
作家へコメントを書けるようA5サイズの紙を配布した。
応 募 | 応募者数12名／実施者数12名 波多野友香、
水口智之、畠知良、斉藤誠、田部井勝、伊藤明倫、岡川卓詩、
福岡寛之、河村るみ、長谷部勇人、石堀礼子、加藤良将
ゲストコメンテータ | 能勢陽子(豊田市美術館学芸員)
参加者数 | 37名



「ポートフォリオ・ミーティング #1」 チラシ表

「ANIMATION TAPES プレゼンツ
中村智道 アニメーション作品上映」 B1F
2011年10月8日(土)～23日(日)

内 容 | 東海地方を中心に短編アニメーションの上映を
行うアニメーションテープスの企画協力によって、世界の映
像祭で活躍中のアニメーション作家、中村智道(中村智道)の作品『ぼく
のまち』『蟻』を上映した。
企画協力 | アニメーションテープス

「ANIMATION TAPES プレゼンツ
アート・アニメーションのちいさな学校
作品上映」 B1F
2011年10月26日(水)～11月19日(土)

内 容 | アニメーションテープスの企画協力により、東京
の阿佐ヶ谷にあるアート・アニメーションの小さな学校の生徒
による5つの作品を上映。
出品作家 | 嶋倫子、吉川さゆり+川平美緒、吉田真弓、中川
晋介、豹チーム(飯田裕司、野田美波子、宮崎菜穂、崎村のぞみ)
企画協力 | アニメーションテープス
会期中の来場者数 | 1,262名



「ANIMATION TAPES プレゼンツ
アート・アニメーションのちいさな学校 作品上映」
チラシ表

アーティストサポートプログラムは若手アーティストを対象とする
公募プログラム。展示場所と制作補助だけでなく、専門家から
のアドバイスなど制作のプロセスを通してサポートした。ワークイ
ンプロGRESS部門で2組、作品制作展示部門で2組選考した。

「アーティストサポートプログラム
ワークインプロGRESS部門 #1
長谷部勇人+石堀礼子
《You're Home プロジェクト》」 2F
2011年11月9日(水)～27日(日)

出品作家 | 長谷部勇人、石堀礼子、井藤雄一、山内亮典
展示概要 | アートラボあいちにおいて、空(から)の郵便物を募集し、それを素材に、だれのものでもない、誰かのための家を制作するプロジェクト。郵便物の応募総数552件。空の家を制作する一方で、収集した郵便物の消印から地図上をマッピングしたものをプログラムしたサウンドインスタレーションの作品を井藤雄一が展示。また、場所性が希薄な絵画を山内亮典が描き、同空間に展示をした。

会期中のイベント | ワンピースクラブ交流勉強展
2011年11月11日(金)19:00～(参加者数 | 20名)
ゑびす祭り出張ワークショップ 2011年11月11日(土)、12日(日)10:00～16:00(参加者数 | 154名)
You're Home Live 2011年11月18日(金)17:00～17:50(参加者数 | 10名)
You're Home ワークショップ 2011年11月25日(金)14:00～18:00(参加者数 | 25名)
You're Home Meeting 2011年11月27日(日)17:00～(参加者数 | 12名)
会期中の来場者数 | 692名



「アーティストサポートプログラム ワークインプログレス部門 #1
長谷部勇人+石堀礼子《You're Home プロジェクト》」 チラシ表



展示風景(2F)

「Network Meeting 第1回 メディアの可能性」 B1F 2011年12月9日(金)18:30～20:30

ゲスト | 臼井泰弘(guitar player, composer)、黒田義隆(ブックマークナゴヤ/ON READING)、武部敬俊(THISIS(NOT)MAGAZINE 編集長)、野田利也(PEELER/N-mark)、高橋佳介(クーグート代表)、田中由紀子(美術批評/ライター/インデペンデントキュレーター)、名畑恵(NPOまちの縁側育み隊/「まちの会所」チーフ)、増田千恵(リア制作室)
内 容 | 「Network Meeting」とは多様なテーマを設けて各分野の団体や個人を集め、それらの活動や取り組み等について話し合いを行うもの。その第1回は様々なメディア作りに関わるゲストを招き、現場の話を聞きながらメディアのこれからについて話し合った。NPO提案型協働事業の一環。
参加者数 | 36名

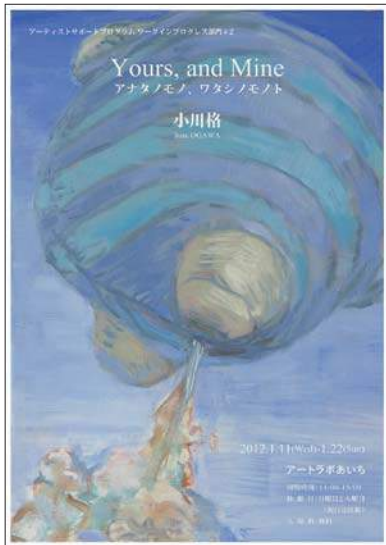


「Network Meeting 第1回 メディアの可能性」 チラシ表

「アーティストサポートプログラム ワークインプログレス部門 #2 小川格 《Yours, and Mine アナタノモノ、ワタシノモノト》」 2F 2012年1月11日(水)～22日(日)

出品作家 | 小川格
展示概要 | 小川の描いたドローイング112枚の中から、参加者が好きなものを選び、その作品へタイトルをつける。展覧会最終日に、小川自ら、作品とタイトルをみて選考し、選ばれたタイトルをつけた参加者に、そのドローイングをプレゼントした(応募総数168枚、選考結果15名)。

会期中のイベント |
アーティストトーク No.1 2012年1月13日(金)19:00～(参加者数 | 3名)
アーティストトーク No.2 2012年1月21日(土)14:00～(参加者数 | 12名)
タイトル発表 2012年1月22日(日)15:00～ 参加者数 | 8名
会期中の来場者数 | 551名



「アーティストサポートプログラム ワークインプログレス部門 #2
小川格《Yours, and Mine アナタノモノ、ワタシノモノト》」 チラシ表

「アーティストサポートプログラム 作品制作展示部門 #1 田島秀彦+横内賢太郎 《Seals of Eastern light》」 2F 2012年2月15日(水)～26日(日)

出品作家 | 田島秀彦、横内賢太郎
展示概要 | 田島秀彦による照明や生花を中心としたインスタレーションと横内賢太郎による絵画を展示するほか、展示空間に合わせた作品を制作した。展覧会開催前には、参加型のミーティングを実施し、展覧会コンセプトやチラシのデザイン等を話しあった。
会期中のイベント |
公開ミーティング #1
2011年11月26日(土)19:00～(参加者数 | 13名)
公開ミーティング #2
2012年1月14日(土)19:00～(参加者数 | 1名)
オープニング
2012年2月18日(土)18:00～(参加者数 | 26名)
クロストーク(ゲスト:染谷亜里可)
2012年2月26日(日)17:00～(参加者数 | 40名)
会期中の来場者数 | 593名



「アーティストサポートプログラム 作品制作展示部門 #1
田島秀彦+横内賢太郎《Seals of Eastern light》」 展示風景(2F)

「Network Meeting 第2回 教育とアート」 1F 2012年2月18日(土)15:00～17:00

ゲスト | 藤井明子(愛知県文化情報センター学芸員)、中村史子(愛知県美術館学芸員)、高橋承一(愛知県立岩倉総合高校教諭)、亀田恵子(Arts&Theater→Literacy)、名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」メンバー

内 容 | アートを社会に普及・教育していく仕組みを考えるきっかけとして、様々な立場にいる「教育とアート」にかかわる方々を呼び、意見交換の場を設けた。



「Network Meeting 第2回 教育とアート」 チラシ表

「ポートフォリオ・ミーティング #2」 1F 2012年2月26日(日)13:00～16:00

応募 | 応募者数11名/実施者数/9名 塚原くみこ、矢島与萌、櫻井亜衣、山口諒、森部英司、鈴木智教、天野入華、宇田もも、西山弘洋
ゲストコメンテータ | 平松伸行(アーティスト/キュレーター/+Gallery PROJECT代表)、中村史子(愛知県美術館学芸員)
参加者数 | 30名



「ポートフォリオ・ミーティング#2」 チラン表

「アーティストサポートプログラム 作品制作展示部門#2 栗山斉 《impermant preservation [sunflower project]》」 2F 2012年2月29日(水)～3月11日(日)

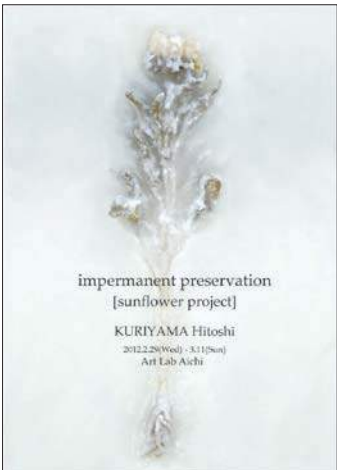
出品作家 | 栗山 斉

展示概要 | [sunflower project](東日本大震災後、ヒマワリに放射性物質を吸収する特質があるとされ始動。その後そのような効果はないとされたが、その後もプロジェクトは続いた)で採取したヒマワリをパラフィンワックスで保存したものを展示した。

期間中のイベント | オープニング & アーティストトーク

2012年2月29日(水)19:00～(参加者数 | 7名)

会期中の来場者数 | 399名



「アーティストサポートプログラム 作品制作展示部門#2 栗山斉
《impermant preservation [sunflower project]》」 チラン表

「Network Meeting 第3回 コミュニティとアート」 1F 2012年3月8日(木)19:00～20:30

ゲスト | 吉田俊雄(吉田商事株式会社社会長)、堀田勝彦(有限会社長者町街づくりカンパニー取締役)、津田佳紀(名古屋芸術大学准教授)、武藤隆(建築家/大同大学工学部建築学科准教授)、名畑恵(NPO法人まちの縁側育み隊「まちの会所」チーフ)、山田訓子(長者町まちなかアート発展計画)内 容 | アートラボあいちとまちとの関わりについて、そして両者を繋いでいるアートについて、まちの方、ラボに来る鑑賞者や参加者、展示を行った作家や大学の先生方の参加のもと、アートラボあいちのオープンからの半年を振り返りつつ、意見交換を行った。

参加者数 | 20名



「Network Meeting 第3回 コミュニティとアート」 チラン表

「オープン・ラボ2012」 B1F, 2F 2012年3月14日(水)～18日(日)

出品作家 | 2階/You're Home[長谷部勇人+石堀礼子+山内亮典+永田浩子]、田島秀彦+横内賢太郎、小川格、栗山斉
地下1階/天野入華、石堀礼子、宇田もも、岡川卓詩、加藤良将、河村るみ、斎藤誠、鈴木智教、塚原くみこ、西山弘洋、長谷部勇人、島知良、波多野友香、福岡寛之、水口智之、水野亜衣、森部英司、矢島与萌、山口諒

展示概要 | アートラボあいちがオープンしてから、はちが自主事業として行ってきたプログラムを総括し、発表するための展覧会を開催した。2階では、アーティストサポートプログラム参加作家による展示、地下1階ではポートフォリオミーティングに参加した作家の作品を展示した。

会期中のイベント |

作品解説(I)[小川格、坂本和也、山内亮典]

2012年3月14日(水)18:30～19:30(参加者数 | 23名)

作品解説(II)[長谷部勇人、石堀礼子、永田浩子]

2012年3月15日(木)18:30～19:30(参加者数 | 7名)

ワークショップ「長者町アートちよい足しデザイン」

講師:近藤令子(はち)、松村淳子(フリーランスエデュケーター)

2012年3月16日(金)11:00～19:00(参加者数 | 10名)

公開インタビュー①②

ゲスト:加藤伸葉(長者町まちなかアート発展計画)、野田利也

(PEELER/N-mark)、新見永治(はち)

2012年3月16日(金)18:00～20:00(参加者数 | 5名、12名)

ワークショップ「ハッテンハッテン布遊びワークショップ～わたしの「好き」を重ねよう～」

講師:近藤令子(はち)、長者町まちなかアート発展計画

2012年3月17日(土)11:00～19:00(参加者数 | 26名)

ラボツアー

2012年3月17日(土)14:00～14:30(参加者数 | 4名)

公開インタビューゲスト:ロブプロ、中上淳二(メディアアーティスト)

2012年3月17日(土)15:30～17:30(参加者数 | 7名、12名)

ワークショップ「なかじのバンドメンバー募集(ゲストてんしんくん)」

講師:近藤令子(はち)、中島佳秀(アーティスト)、平賀天神(アーティスト/ジョセフ・アルプ・ポルカ)

2012年3月18日(日)11:00～19:00(参加者数 | 13名)

作品解説(III)[森部英司、鈴木智教、波多野友香、宇田もも、山口諒]

2012年3月18日(日)14:00～15:00(参加者数 | 15名)

会期中の来場者数 | 260名



『オープンラボ2012』展 チラン表

愛知県立芸術大学芸術学専攻二年次 「インタビューズ」上映 B1F 2012年2月8日(水)～19日(日)

協力 | 山本高之

展示概要 | 愛知県立芸術大学で芸術学を専攻する2年次の学生が、映像の授業の一環で課題「インタビューズ」に取り組み、制作したものを上映した。「私たちが現在持っている疑問を聞きに行く」というテーマでそれぞれの疑問に合わせてインタビューを実施。

会期中の来場者数 | 291名



愛知県立芸術大学芸術学専攻二年次
「インタビューズ」上映 チラン表

平松伸之個展 「Bricolage-ブリコラージュ-」 B1F 2012年2月22日(水)～3月10日(土)

出品作家 | 平松伸之

展示概要 | 平松伸之(アーティスト、キュレーター、+Gallery PROJECT代表)による個展を開催した。2011年9月に大阪のCASにて開催した個展で発表された作品に、新たに特典映像を加えて展示をした。

会期中の来場者数 | 796名



平松伸之個展「Bricolage-ブリコラージュ-」 チラン表

「プレオープニング企画

frame per second…アニメーションの瞬く速度」

開催期間 | 2011年8月21日(日)～23日(火)

出品作家 | 幸洋子+松下直人、江口詩帆、村本咲、南條沙歩、川瀬直和、小島志穂子

名古屋学芸大学映像メディア学科 ZEMI展優秀作 上映

「ZEMI 展優秀作上映」

開催期間 | 2011年12月9日(金)～11日(日)

出品作家 | 藤田ありさ、岡本晃一郎、大城友海

名古屋学芸大学 映像メディア学科作品上映

「CG作品特集」

開催期間 | 2011年12月21日(水)～25日(日)

出品作家 | 新居花菜、大城友海、尾野桃未、加藤里奈、中山可偉、古田真菜、三木雄太

名古屋学芸大学 第7回卒業・修了制作展

1F, 3F, 4F

開催期間 | 2012年1月11日(水)～15日(日)

展示概要 | 3階、4階では、映像作品やインスタレーションによる展示が実施され、1階ではワークショップが実施された。

「PROJECT HORIKAWA-3つの新しい提案」

開催期間 | 2012年2月29日(水)～3月4日(日)

展示概要 | 立体空間デザインコース3年生による展覧会を実施。3チームがそれぞれ異なる切り口で堀川周辺の環境にそった建築を提案した。

「exhibition : MY DESIGN HOME SWEET HOME」

開催期間 | 2012年3月20日(火・祝)～25日(日)

主 催 | nest

出品作家 | 丸野公平、秦慎太郎、町田タケル、稲熊佑典、井上順一、イム・ハンソプ、うらら、小川慶太、くまのり、小池絵里子、SANA. M、谷口拓也、tmgrf、中上淳二、野池花奈多、早川大樹、星野元秀、堀口彰太、maromixxx、水橋哲朗、_poton、miltata、山口祐基

展示概要 | 「家」をテーマに、絵画、立体、映像、音楽など様々なジャンルの作品が展示された。

「空間制作実験展」

開催期間 | 2012年5月3日(木)～5日(土)

出品作家 | 水口優、山岡満奈美、奥村史門、岸本実紗

展示概要 | 大量の新聞紙の山のインスタレーションや、プロジェクターによって映像を投影

会期中の来場者数 | 70名



『空間制作実験展』 展示風景

「空間制作実験展2」

開催期間 | 2012年6月6日(水)～9日(土)

出品作家 | 伊藤凌平、小栗由香理、佐藤優衣、菅森謙太

展示概要 | プロジェクターによる映像の投影、チョコレートをを使ったオブジェなどを展示。

会期中の来場者数 | 162名

「インスタレーションゼミ制作実験展」

開催期間 | 1期／2012年7月5日(木)～8日(日)、2期／7月

12日(木)～15日(日)、3期／7月19日(木)～22日(日)

出品作家 | 1期／伊藤凌平、奥村史門、岸本実紗、尾野綾子、中村麻里 2期／小栗由香理、佐藤優衣、岩崎あかり、原田美那実、吉本真理 3期／水口優、山岡満奈美、大津奈々、岡本佳子、菅森謙太

展示概要 | 名古屋学芸大学インスタレーションゼミに所属する学生による展示。

会期中の来場者数 | 174名

「The Weekend Artists. 名古屋学芸大学映像 メディア学科2期 卒業生グループ展」

開催期間 | 2012年7月26日(木)～8月4日(土)

出品作家 | 高津健太(平面・映像)、高橋一實(写真)、平岩毅雄(写真)、立仙雅一郎(平面)、トダカオリ(映像)

会期中の来場者数 | 319名

「映像表現特論 制作展 Paper's」

開催期間 | 2012年8月9日(木)～18日(土)

出品作家 | 岩田芽子、大藪希子、堤翔子、阪野佑美、若山雅佳

会期中の来場者数 | 311名

「映像表現特論 制作展 “道”」

開催期間 | 2012年8月22日(水)～30日(日)

出品作家 | 岩田芽子、大藪希子、堤翔子、阪野佑美、若山雅佳

展示概要 | 映像表現特論での講座にて制作された作品を

展示。WSコーナーを設置(机と同サイズの紙とペン1本を用意し、来場者にとっての道を自由に描かせた)。

会期中の来場者数 | 220名

「ジョシュテン！」

開催期間 | 2012年9月5日(水)～16日(月)

出品作家 | 横山達也、江口詩帆、トダカオリ

展示概要 | 名古屋学芸大学映像メディア学科助手によるグループ展を開催。体験型のインスタレーション作品の展示、映像作品の上映、アニメーション作品で用いたフィギュアが展示された。

会期中の来場者数 | 446名



『ジョシュテン！』 展示風景

「VIDEO PARTY 2012」

開催期間 | 2012年9月21日(金)～30日(日)

出品作家 | 由良泰人、伏木啓、名古屋学芸大学映像メディア造形学部映像メディア学科在校生・卒業生有志、大阪成蹊大学芸術学部情報デザイン学科在校生・卒業生有志

展示概要 | キュレーターの瀬島久美子と映像作家の由良泰人、伏木啓によって企画された映像作品の上映展。由良と伏木の近作他、名古屋学芸大学メディア造形学部映像メディア学科と大阪成蹊大学芸術学部情報デザイン学科の学生/卒業生による映像作品を展示。

会期中の来場者数 | 428名

「横山達也写真展 肖像写真たち」

開催期間 | 2012年10月10日(水)～21日(日)

出品作家 | 横山達也

展示概要 | 肖像写真から読みとる事ができる、モデルの情報をきっかけに人間とは何かといった問いに答えを出す、出そうとすることを目的に撮影した作品を展示。

会期中の来場者数 | 364名

「7展 引>カ -いつもと違う引くカ-」

開催期間 | 2012年11月1日(木)～11日(日)

出品作家 | 伊藤凌平、奥村史門、小栗由香理、佐藤優衣、岸本実紗、山岡満奈美、水口優

展示概要 | インスタレーションゼミの7名の学生が参加し展示を行った。天井からピンと伸びる糸の先にクリップが取り付けられ、そのクリップは地につくことなく止まっている状態をインスタレーション展示。

会期中の来場者数 | 401名



『7展 引>カ -いつもと違う引くカ-』展 展示風景

「イン展」

開催期間 | 2012年11月21日(水)～25日

出品作家 | 大藪希子、堤翔子、若山雅佳

展示概要 | 名古屋学芸大学大学院メディア造形研究科7期生3名による体験型作品展。

会期中の来場者数 | 295名

「ISMIE (Interlink Student's Moving Image Exhibition) 全国16大学学生映像作品上映展」

開催期間 | 2012年12月21日(金)～23日(日)

出品作家 | 森陽平、岩澤秀平、原藍子、南條沙歩、山崎廣人、古松嘉也、安藤真貴、関俊也、源川友規、中村望美、林紗綾香、斉藤有里、大野茜、渡啓太、矢野志音、北村晋也、萩原稀未佳、田村凌一、前田結歌、太田奈緒、片瀬央子、塚本愛果、瀬之口拓磨、安藤尚也、伊藤正樹、塚原真梨佳、池田麻里奈、木村美貴、高塚麻莉、中村かおり、長谷川洋輔、小田悠貴、福崎星良、鈴木紀之、定形佑馬、市川亮輔、小酒井朗、谷口智幸、樋口一希

参加大学 | 九州産業大学、多摩美術大学、日本大学、名古屋学芸大学、京都精華大学、文教大学、北海道教育大学、阿佐ヶ谷美術専門学校、大阪芸術大学、東京工芸大学、東北芸術工科大学、成安造形大学、東京造形大学、早稲田大学、尚美学園大学

展示概要 | 日本映像学会 映像表現研究会により、全国の映像系大学23校から推薦された学生作品上映展。

会期中の来場者数 | 137名

名古屋学芸大学陶芸サークル「陶華」グループ展

開催期間 | 2013年1月17日(木)～2月2日(土)

出品作家 | 丸野公平、中幸生、白鷺来喜、小池喜子、太田都佳沙、梅田茜、大西正敏、大矢千晶、尾方美波、奥村ガッピ、安藤麗、加藤さやか、熊谷華穂、小林明子、佐野智美、島崎徳人、戸田杏奈、早川舞、福原千早子、宮嶋渚、河村暢夫(顧問)

展示概要 | 「陶華」は、大学院生が中心となって陶芸を制作するサークル。1年間制作してきた作品を展示した。

会期中の来場者数 | 451名

「テレビゼミ秀作上映展」

開催期間 | 2013年2月8日(金)～10日(日)

出品作家 | 佐藤鯛介、山田 霞、内海美穂

展示概要 | 名古屋学芸大学映像メディア学科の卒業生、在校生の作品から、秀作を選んで上映。

会期中の来場者 | 186名

「HORIKAWA PROJECT 堀川の新しいカタチ」

開催期間 | 2013年3月7日(木)～10日(日)

展示概要 | 名古屋学芸大学デザイン学科3年立体空間コースの学生による堀川を活性化するための新しいランドスケープを模型とパネルで提案。

会期中の来場者 | 167名



「HORIKAWA PROJECT 堀川の新しいカタチ」展 展示風景(4F)

「衣食住展」

開催期間 | 2013年3月27日(水)～31日(日)

出品作家 | 小池喜子、寺尾萌未、野坂匠、服部文香、森まりも、米田圭織

展示概要 | 衣食住をテーマに、身近なものを取り入れた作品を展示した。

会期中の入場者数 | 235名

「まなざしのはこ」

開催期間 | 2013年4月4日(木)～14日(日)

出品作家 | 参加作家 | 水原隆太、三上潤基、松浦拓也、

清野恭平、木全小春、亀谷圭佑、稲川有紀

展示概要 | 名古屋学芸大学で写真を学ぶ有志七人による作品展。

会期中の来場者数 | 381名

「群れる羊」

開催期間 | 2013年6月13日(水)～23日(日)

出品作家 | 稲川有紀、亀谷健司、松浦拓也、太田涼、川村綾、清野恭平、横募智美、埋田拓也、大町晃平、鯉江咲耶、森家義人、木全小春、中川達也、水原隆太、河井沙優花、中辻久瑠実、三上潤基、山口勝巳

展示概要 | 名古屋学芸大学メディア造形学部・映像メディア学科写真ゼミ4年生による共同制作展。

会期中の来場者数 | 618名

「インスタレーションゼミ制作展」

開催期間 | 第1週／2013年6月27日(水)～30日(日)

第2週／2013年7月4日(水)～7日(日)

第3週／2013年7月11日(水)14日(日)

出品作家 | 第1週／大津奈々、岡本佳子、中村麻里、原田美那実、所遥菜、今井春菜

第2週／岩崎あかり、吉本真理、木戸侑奈、小關萌未、後藤萌、鳥居千寛

第3週／尾野綾子、菅森謙太、岡田詩穂、佐藤桃子、竹末侑加莉、丹羽和大

展示概要 | インスタレーション作品。映像を中心とした様々なメディアを空間全体に配置し、鑑賞者が全身で体感できる作品表現を追求し制作した。

会期中の来場者数 | 682名

「NUAS SELECTED MOVIES FOR TRIENNALE」

開催期間 | 2013年7月17日(木)～21日(日)、24日(水)～28日(日)

出品作家 | 香名健一、丸山裕介、安藤光利、水野愛子、上野愛、近藤慶士、大城かん奈、芝田彬、山本侑里、早稲田若菜、松尾健太、江口詩帆、松下直人、幸洋子、渡部百合子、新見拓也、夏目大地、中根直哉、伊藤紀明、稲生拓也、藤井翔太、中嶋翔太、村本咲

展示概要 | 映像作品。

会期中の来場者数 | 484名

写真公募展「ヒトナツの恋」

開催期間 | 2013年8月1日(木)～7日(水)

出品作家 | 学生アートクルー

主 催 | 学生アートクルー

会期中の来場者数 | 314名

「KOSEI NAKA EXIHIBITION

contemporary : installation art」

開催期間 | 2013年8月10日(土)～18日(日)

出品作家 | 中 幸生

展示概要 | 陶磁製の箱状作品を床に相当数配置し、プロジェクターによる壁面投影と音響を組み合わせたインスタレーション。

会期中の来場者数 | 3,618名

「CG WORKS Collection」

開催期間 | 2013年8月20日(火)～26日(月)

出品作家 | 名古屋学芸大学メディア造形学科映像メディア学科CGゼミ生

展示概要 | 映像作品ループ上映。

会期中の来場者数 | 1,681名

「コマ撮りアニメ「ノッフルライフ」制作展」

開催期間 | 2013年8月28日(水)～9月8日(日)

出品作家 | 人形アニメーション: 江口詩帆

美術セットデザイン: 西野圭一郎

展示概要 | 作家が滞在してアニメーションを公開制作。

会期中の来場者数 | 4,192名

「German Animation “KURZ&GUT III”」

開催期間 | 2013年9月10日(火)～15日(日)

出品作家 | ヘ・クン・ジュン、ロベルト・ザイデル、フロリアン・グローリッヒ、ヤン・デューリング、ヨハネス・ヴァイラント、セバスティアン・ペーターゾン、アンナ・マティジック、シュテファン・エリング

展示概要 | ドイツ短編映画集『クルツ・ウント・グート』より、4つの作品集から選抜した8作品を上映。

会期中の来場者数 | 2,778名

「Visual Voice Under 18」

開催期間 | 2013年9月20日(金)～29日(日)

展示概要 | 18歳以下を対象としたビジュアル(フォト、手描きイメージ、コンピュータグラフィックスをはじめとした静止画)公募コンテスト「Visual Voice Under 18」の前回の受賞作品を展示。

会期中の来場者数 | 7,347名

「Moving Image League 2013」

開催期間 | 2013年10月1日(火)～10日(木)

企 画 | 瀬島久美子(名古屋学芸大学メディア造形学部教授)

共同企画・作品選者 | 伊奈新祐、奥野邦利、由良泰人(大阪成蹊大学芸術学部 准教授)、伏木啓

出品作家 | 伊奈新祐(京都精華大学芸術学部教授)、奥野邦利(日本大学芸術学部教授)、由良泰人(大阪成蹊大学芸術学部准教授)、伏木啓(名古屋学芸大学メディア造形学部講師)、ピョン・ジェギョウ、石井陽之、西崎啓介+トダタダシ、魚雷映蔵(大内光 | 松島慎太郎 | 佐野竜太 | 坪倉弘忠)、福井麻理、SCOOP(上海梓 | 田中美菜子 | 土井美和 | 山口沙織 | 轉馬睦美)、村本 咲、幸 洋子、南條沙歩

展示概要 | 映像系コースを持つ京都精華大学、日大芸術学部、大阪成蹊大学、名古屋学芸大学の卒業生と教員によるアート映像の上映展。

会期中の来場者数 | 4,079名

「JIDA JUNIOR Project まほうびん展」

開催期間 | 2013年10月16日(水)～20日(日)

出品作家 | JIDA JUNIOR 中部メンバー

会期中の来場者数 | 2,747名

「Yuto & Tomomasa Photo Exhibition 撮案」

開催期間 | 2013年10月21日(月)～24日(木)

出品作家 | 中瀬雄登／西口智正

会期中の来場者数 | 1,658名

「「ノッフルライフ」完成作品展」

開催期間 | 2013年10月25日(金)～27日(日)

出品作家 | 人形アニメーション: 江口詩帆

美術セットデザイン: 西野圭一郎

展示概要 | アニメーション、撮影の美術セット。8月末に同会場で開催制作が行われた人形アニメーション「ノッフルライフ」の完成作品を上映。

会期中の来場者数 | 2,945名

「cinq sens ～Mois～うさぎのような感受性で多面的なモノづくりを」

開催期間 | 2013年11月2日(金)～6日(木)

出品作家 | 北澤友里、本間瑞葉

展示概要 | テキスタイルを活かす洋服 & 洋服を活かすテキスタイル。

会期中の来場者数 | 60名

「名古屋学芸大学映像メディア学科

インスタレーションゼミ【ブレ卒展】」

開催期間 | 前期／2013年11月8日(金)～12日(火)

後期／11月14日(木)～17日(日)

出品作家 | 前期／岡本佳子、原田美那実、吉本真理

後期／岩崎あかり、尾野綾子、菅森謙太

棟方志功ワークショップ
「版画で絵ハガキ」 1F
2011年7月30日(土)13:00～

主催 | 愛知県美術館、あいちトリエンナーレ サポーターズクラブ事務局(はち協力)
内容 | 愛知県美術館で開催されていた「棟方志功」展の関連企画としてワークショップを実施した。プログラムは、色々な素材を使って自分の好きな風景や物を厚紙の上にかたどり版画をするというもの。
参加者数 | 36名



『棟方志功ワークショップ「版画で絵ハガキ」』 チラシ表

ポロックワークショップ
「ドリップングに挑戦しよう」 2F
2011年12月3日(土)13:30～16:00

主催 | 愛知県美術館、はち
参加者数 | 30名



『ポロックワークショップ「ドリップングに挑戦しよう」』 イベント風景

「ラボ・マジック・サークル」 1F
2012年6月9日(土)

協力 | 愛知県美術館



『ラボ・マジック・サークル』 イベント風景

エルンストワークショップ
「こすってきって、キャラクターのつくりかた-フロッタージュ×コラージュ-」 1F
2012年8月4日(土)

主催 | 愛知県美術館



『エルンストワークショップ「こすってきって、キャラクターのつくりかた-フロッタージュ×コラージュ-」』 イベント風景

奥村雄樹ワークショップ
「くうそうかいぼうがく」 1F
2012年12月22日(土)

主催 | 愛知県美術館
講師 | 奥村雄樹



『奥村雄樹ワークショップ「くうそうかいぼうがく」』 イベント風景
撮影: 副田一穂

『第16回アートフィルムフェスティバル
サテライト上映』 B1F
2011年11月23日(水・祝)～26日(土)

主催 | 愛知芸術文化センター
作品提供・協力 | アリアンヌ・フランセーズ愛知フランス協会、パンドラ、Werner Herzog Film GmbH、仙台短編映画祭実行委員会、なら国際映画祭実行委員会、CaRTe bLaNChe (カルトブランシュ)、名古屋シネマテーク、SOL CHORD、石田尚志、牧野寛
上映作家 | ジュリアン・デュヴォー、フランソワ・レヴィ＝克蘭ツ、ブルーノ・モンサンジョン
概要 | 愛知芸術文化センターをメイン会場に実施された「アートフィルムフェスティバル」のサテライト会場として、〈フランス・ドキュメンタリーの現在 アートと社会の交点〉の3作品を上映した。
会期中の来場者数 | 231名



『第16回アートフィルムフェスティバル サテライト上映』 チラシ表

『トリエンナーレスクール:表現の最先端
シリーズ1「クリエイターもキュレーター」』 1F
2012年3月3日(土)16:00～18:00

主催 | あいちトリエンナーレ実行委員会
ゲスト | 澤隆志(映像作家/キュレーター)
聞き手 | 越後谷卓司(愛知県文化情報センター主任学芸員)
参加者数 | 40名



『トリエンナーレスクール:表現の最先端シリーズ1「クリエイターもキュレーター」』 イベント風景

『鉄の子どもたち』 2F
2012年12月12日(水)～24日(月・祝)

主催 | あいちトリエンナーレ実行委員会
展示概要 | 11月23日(祝)と24日(土)の2日間にわたって、納屋橋にある東陽倉庫テナントビルで、あいちトリエンナーレ2013の出品アーティストである青木野枝によるワークショップを開催した。このワークショップで制作された作品を展示公開した。青木野枝の制作手法は、鉄板を高熱で溶断し、そして溶接する。シンプルでありながら、危険を伴うこの技法に子どもたちが直接取り組んだ。愛知県と岐阜県在住の小中高生11名が参加し、合計15点の力作が完成。この小さな展覧会を「鉄の子どもたち」と名付けた。「子どもたち」による鉄の作品を意味すると同時に、力強い存在であってほしい、という想いを込めたもの。
会期中の来場者数 | 375名



『鉄の子どもたち』展 展示風景(2F)

連携事業

大学との連携以外にも、アートラボあいちのスペースの特性を生かしたイベントを行った。東日本大震災を受けての応援企画展、海外との小規模な交流展、そして先端的なメディア芸術の成果を示す展覧会などである。

〔東日本大震災復興応援企画〕
『デイリリーアートサーカス2011』 B1, 1F, 2F
2011年8月12日(金)13:00～17:00

主催 | DAYLILY ART CIRCUS 2011
出品作家 | 高橋士郎、野田裕示、吉澤美香、タムラサトル、
木村崇人、磯崎道佳、開発好明
展示概要 | 東日本大震災で被害を受けた地域のために、
アートによる心の繋がりを運ぶべく、「デイリリー・アート・サー
カス2011」が全国30ヶ所を30日間かけて巡回し、西日本と
関東で義援金を集め被災地に寄付をするという企画。ワーク
ショップや体験型に作品に来場者は自由に参加できた。
参加者数 | 67名



『デイリリーアートサーカス2011』展 チラシ表

日韓交流展「Historical Parade : Images From Elsewhere」 B1, 2F
2013年1月9日(水)～2月3日(日)

主催 | 日韓交流展「Historical Parade」実行委員会、
SeMA Seoul Museum of Art、Nanji Residency
協力 | 海岸通ギャラリー・CASO
出品作家 | 藤本正則、ユ・スンホ、笹岡敬、富永奇昂、イ
ウォノ、キム・ドゥジン、クォン・スングァン、平松伸之、ノ・スンテク、
高橋伸行、キム・キラ
展示概要 | 日本と韓国の文化交流を目的としたグループ
展。ソウル市立南ソウル美術館に始まり、大阪、そして名古屋
へと巡回した。
現代社会には様々な不安を感じさせる現象が存在する。自然
災害、病気、事故、処罰などである。現代社会は、このよう

な不安の現象を通じて維持されている。それがために、現代
社会の未来像には、常にある崩壊の姿が重なり合う。こうし
た現代社会において、芸術家はその感性によって社会の破
局や崩壊に対する予言者としての役割を持つことがあり、そ
れが作品へと反映される。この展覧会では、不安が発生する
様々な原因や破局の兆候をさし示す作家の作品を通じ、カタル
シスの可能性を確認する。
会期中の来場者数 | 710名



『日韓交流展「Historical Parade : Images From Elsewhere」 展示風景(2F)



展示風景(B1F)

NODE WORKSHOP SHOWCASE 3F
2011年11月3日(木)～27日(日)

主催 | NODE
協力 | IAMAS、名古屋学芸大学、中京大学、日本パーソ
ナルファブリケーション協会、Switch Science、InterCulture、
トリガーデバイス、Make: Japan、長者町まちなかアート発展
計画、長者町アートアニュアル
展示概要 | 開設準備中のオープン・ラボの活動の一環とし
て、情報デザイン、映像プログラミング、電子工作などさまざ
まなメディアに関わるワークショップ、イベント、交流会を開催。



『NODE WORKSHOP SHOWCASE』展 チラシ表

『平成24年度文化庁メディア芸術人材育成支
援事業「NODE WORKSHOP SHOWCASE
2012」+日韓交流ワークショッププログラム
「CONSONARE EXHIBITION」』 3F
2013年1月9日(水)～21日(月)

共催 | あいちトリエンナーレ実行委員会、NODE
助成 | NODE WOKSHOP SHOWCASE:文化庁
CONSONARE EXHIBITION:三菱UFJ国際財団
出品作家 | KIM HOONIDA、CHANGGYN JUNG、加藤良将、
河村陽介、三宅多門、中上淳二、PHIRIP他
展示概要 | NODEはメディアアートやデザインに関するハ
ードウェアや映像プログラミングの制作などを行なっている
愛知近郊のメディア系アーティストや教員、学生が所属する
グループ。本企画「NODE WORKSHOP SHOWCASE
2012」では会期中、人材育成事業として、映像表現のひと
つであるプロジェクションマッピングを中心としたワークショ
ップの実施とこれまでの成果物、今回のワークショップを通
じて作品の完成にいたるまでのワークインプログレスの過程
を公開した。また、日韓交流事業「CONSONARE」を並行し
て行っており、日韓のメディアクリエイターが共同で制作を
行ってきた成果物の展示を行った。この展示では光を発する
オブジェクトや照明、映像を設置し、それに対して鑑賞者は
光を音に変換するヘッドホン型のアクセサリを身につけ、
光と音を同時に楽しむ内容となった。

会期中のイベント |
[NODE WOKSHOP SHOWCASE]
Aプログラム「立体オブジェとプロジェクションマッピング
制作」 2013年1月12日(土)、13日(日) 15:00～18:00
(参加者数 | 1月12日/15名、13日/26名)
Bプログラム「建築物へのプロジェクションマッピング制作」
2013年1月14日(月・祝) 15:00～18:00(参加者数 | 10名)
[CONSONARE]
クラフトロボで照明をつくろう 2013年1月12日(土)13:00
～15:00(参加者数 | 4名)
音/映像作品のデモンストレーション&プレゼンテーション
2013年1月12日(土)18:00～19:00(参加者数 | 15名)

会期中の来場者数 | 366名



『平成24年度文化庁メディア芸術人材
育成支援事業「NODE WORKSHOP
SHOWCASE 2012」』展 チラシ表



『日韓交流ワークショッププログラム
「CONSONARE EXHIBITION」』展
チラシ表

NODE WORKSHOP SHOWCASE 2012
成果発表/PRESENTAION 4F
2013年3月1日(金)～3日(日)

出品作家 | イトウアキト、鈴木登志代、福岡寛之、復本寅之介、
森口慎哉、山田さおり、他
展示概要 | メディア芸術人材の育成とともに、都市における
公共的なメディア芸術表現の普及活動となるもので、電子メ
ディアを使ったデジタルサイネージを軸に表現手法や技術に
関するワークショップを実施し、若手のメディアアーティストの
育成を支援するプログラム。当年度の最終成果発表会として
後期のワークショップであるプロジェクションマッピングの
手法を使った作品をワークショップの受講者とともにブラッシュ
アップ期間を経て制作を行い、展示した。
会期中のイベント | プロジェクションマッピング審査会
2013年3月2日(土)14:00～ (参加者数 | 15名)

会期中の来場者数 | 241名

長者町との連携

アートラボあいちが位置する長者町地区は作品の展示会場であると同時に、作品を作り出す場所でもあった。まちの人に直接インタビューすることで、まちの歴史を共有すると同時に、それをヒントにしてアーティストは作品を制作することができた。また、さまざまな立場の人が関わってトークイベントを行い、アートとまちとの良い関係を探り続けた。

『長者町アートサロン』

主催 | あいちトリエンナーレ実行委員会、NPO法人まちの縁側育くみ隊、長者町アートアニュアル
内容 | 『長者町アートサロン』は、錦二丁目で働く人や、活躍をしている人々をゲストに迎えて公開でインタビューを行った。まちの歴史やまちへの思い、トリエンナーレやアートへの思いなどのお話を伺った。

『第1回』
2011年12月1日(木)16:00～17:30
ゲスト | 棚橋千枝子(丸善)
ナビゲーター | 名畑 恵(NPO 法人まちの縁側育くみ隊)
参加者数 | 10名

『第2回』
2011年12月15日(木)16:00～17:30
ゲスト | 谷口律子(喫茶クラウン)
ナビゲーター | 吉田有里(あいちトリエンナーレ・アシスタントキュレーター)
参加者数 | 7名

『第3回』
2012年1月26日(木)16:00～17:30
ゲスト:佐藤順一(株式会社糸和)
ナビゲーター | 名畑 恵
参加者数 | 8名

『第4回』
2012年2月9日(木)17:00～18:30
ゲスト | 中野善信(中野株式会社)
ナビゲーター | 古谷萌子(長者町アートアニュアル)
参加者数 | 7名

『第5回』
2012年2月23日(木)17:00～18:30
ゲスト | 小池 隆(株式会社小池商店)
ナビゲーター | 吉田有里
参加者数 | 9名

『第6回』
2012年3月1日(木)17:00～18:30
ゲスト | 浅野隆司(株式会社綿営ホールディングス)
ナビゲーター | 吉田有里
参加者数 | 8名

『第7回』
2012年3月22日(木)17:00～18:30
ゲスト | 田中 享(田中政商店)
ナビゲーター | 名畑 恵
参加者数 | 8名

『第8回』
2012年7月12日(木)17:00～
ゲスト | 吉田俊雄(吉田商事株式会社)
ナビゲーター | 吉田有里

『第9回』
2012年11月22日(木)17:30～
ゲスト | 横井半三郎(升半茶店)
ナビゲーター | 名畑 恵

『第10回』
2012年12月15日(土)14:00～
原 充諭(YEBISU ART LABO)
ナビゲーター | 吉田有里

『第11回』
2013年1月17日(木)18:00～
ゲスト | 小出祐弘(本重町町内会長)
ナビゲーター | 古谷萌子

『第12回』
2013年2月6日(水)18:00～
ゲスト | 吉川孝清(サクラ産業)
ナビゲーター | 名畑 恵

『第13回』
2013年3月6日(水)19:00～
ゲスト | 山田訓子、寺島千絵、加藤仲葉
(長者町アートインレジデンスお世話人)
ナビゲーター | 古谷萌子



長者町アートサロン『第3回』 イベント風景

『まちのしゃべり場』

主催 | 錦二丁目・長者町界隈まちづくり「まちのしゃべり場」
実行委員会、NPOまちの縁側育くみ隊
内容 | まちに関わる人が集まり、まちづくりについて参加者同士が意見交換を行う会

『まちとアート 長者町を覚醒せよ—あいちトリエンナーレ2013長者町地区での開催に向けて—』

2012年12月5日(水)
ゲスト | 五十嵐太郎(あいちトリエンナーレ2013芸術監督)
鼎談 | 五十嵐太郎、延藤安弘(NPOまちの縁側育くみ隊)、吉田有里



まちのしゃべり場『まちとアート 長者町を覚醒せよ—あいちトリエンナーレ2013長者町地区での開催に向けて—』 イベント風景(1F)

『アーティストトーク Vol.1 マーロン・グリフィス』

2013年3月1日(金)
ゲスト | マーロン・グリフィス(出品アーティスト)

『アーティストトーク Vol.2 Nadegata Instant Party(中崎透、山城大督、野田智子)』

2013年3月15日(金)
ゲスト | Nadegata Instant Party(出品アーティスト)



まちのしゃべり場『アーティストトーク Vol.2 Nadegata Instant Party(中崎透、山城大督、野田智子)』 イベント風景(1F)

幻燈会『まちとアート、いままでとこれから』

2013年3月27日(水)
ゲスト | 延藤安弘

『長者町アートアニュアル2012』展 3F

2013年1月23日(水)～2月3日(日)

主催 | 長者町アートアニュアル
協力 | あいちトリエンナーレ実行委員会、長者町大縁会実行委員会
展示概要 | 長者町大縁会や長者町の山車をはじめ、長者町でこの1年間で起きた、まちとアートの出会いのドキュメントを展示。

ギャラリートーク
2013年1月25日(金)18:00～(参加者数 | 15名)
会期中の来場者数 | 344名



『長者町アートアニュアル2012』展 展示風景(3F)

「ゑびす祭りでワークショップ」

2012年11月10日(土)、11日(日)

会場:長者町繊維卸会館跡
10:00～16:00
参加アーティスト:斉と公平太、和田典子



『ゑびす祭りでワークショップ』 イベント風景

ワークショップ

特に記載のないものは、主催 | オフィス・マッチング・モウル 協力 | あいちトリエンナーレ実行委員会

2012

- 5月4日(金) 「カオメン!!自分の顔のお面をつくろう」
- 5月5日(土) 「こどもの日〜こどもはこども おとなもこども〜」
- 5月6日(日) 「ラボ・マジック・サークル」
- 6月9日(土) 「ラボ・マジック・サークル」 協力 | 愛知県美術館
- 6月23日(土) 「てるてる坊主と雨の色」
- 7月14日(土) 「勝手にラボキャラ作り」
- 8月4日(土) 「こすってきって、キャラクターのつくりかたーフロッタージュ×コラージュ」
主催 | 愛知県美術館
- 8月25日(土) 「もじもじ文字ーオリジナル文字を作るー」
- 9月8日(土) 「影絵実験室」
- 9月22日(土) 「パテドローイング」
- 10月13日(土) 「ALAのナゾを集めて、ナゾ本作り!!」 講師 | フジマツ
- 11月10日(土) ゑびす祭りでワークショップ
と11日(日) 「ケーキツリー」「リレーで長者町くん」「自分で長者町くん」
- 12月8日(土) 「パテドローイング Vol.2」
- 12月22日(土) 「くうそうかいぼうがく」 主催 | 愛知県美術館 講師 | 奥村雄樹



「カオメン!!自分の顔のお面をつくろう」



「影絵実験室」

2013

- 1月12日(土) 「韓国のおもちゃを作ろう」
- 1月26日(土) 「考える本」 講師 | フジマツ
- 2月9日(土) 「アートに告白ラボ」
- 2月23日(土) 「223秒を使う」 講師 | フジマツ
- 3月9日(土) 「フジマツ美術館サンキューアート展」 講師 | フジマツ
- 3月23日(土) 「てんでんで描こう」
- 5月25日(土) 「記憶の長者町」 講師 | フジマツ
- 6月8日(土) 「NENDO PARK」
- 6月22日(土) 「アートラボあいちでいっちゃかみ」
- 7月13日(土) 「フジマツナーレ2013(フジマツトリエンナーレ2013)」
ちょい足しラボ/数の本/ねんど・ラボ 講師 | フジマツ
- 7月20日(土) 「ツボコン」 in アートラボあいち
と21日(日)
- 7月27日(土) 「ナニカデけんちく」



「記憶の長者町」

あいちトリエンナーレ2013に向けて

「あいちトリエンナーレ2013参加作家先行展示」 B1, 2F, 3F
2013年4月3日(水)〜27日(土)

主催 | あいちトリエンナーレ実行委員会
出品作家 | 3階/横山裕一、ブーンスイ・タントロンシン
2階/新美泰史、山下拓也
地下1階/怡土鉄夫(写真家)

展示概要 | あいちトリエンナーレ2013参加アーティストの中から4名の作品を先行して紹介。「あいちトリエンナーレ2010」を含む90年代からの愛知県のアートシーンもスライドで上映した。

会期中の来場者数 | 655名



『あいちトリエンナーレ2013参加作家先行展示』
手前:山下拓也 奥:新美泰史 展示風景(2F)



左:ブーンスイ・タントロンシン 右:横山裕一 展示風景(3F)



怡土鉄夫(あいちトリエンナーレ2010)写真(スライド上映)/7分30秒
展示風景(B1F)

三芸大との連携事業

「あいち卒展コレクティブ」 B1, 2F, 3F
2013年5月1日(水)〜26日(日)

主 催 |
愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学
出品作家 |
愛知県立芸術大学/
早川実希、吉田早希、津々木柝子、河合真維、米倉竜英
名古屋芸術大学/
亀井梓、杉浦光、加藤由佳、水口智之、山口涼
名古屋造形大学/
武藤江美奈、河田麻奈、山本祐理子、磯部由香子、早瀬玲

展示概要 | あいちトリエンナーレ2013に向けて、前年度から、愛知県にある3つの美術大学である、愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学が、「大学連携事業」という枠組みで、アートラボあいちの会場を用いて、それぞれの大学が3回ずつ、合わせて9回の企画展を開催してきた。それに対して、この「あいち卒展コレクティブ」は、3大学が一堂に会した展覧会となった。前年度に卒業、もしくは修了した学生を対象に、各大学の実行委員が5名を選出し、計15名の作品を展示した。大学間の特色が浮かび上がる展覧会であると同時に、愛知県内の美術教育の成果をダイジェスト的に示す展覧会ともなった。

会期中の来場者数 | 896名



『あいち卒展コレクティブ』展 展示風景(2F)



展示風景(3F)

『Draw the World —世界を描く』
2013年8月9日(金)～9月1日(日)

企画 | 小西信之(愛知県立芸術大学准教授)

主催 | 愛知県立芸術大学

出品作家 |

木曾浩太(愛知県立芸術大学大学院修了)

玉山拓郎(愛知県立芸術大学卒、東京芸術大学大学院在籍)

原宏美(愛知県立芸術大学大学院博士後期課程在籍)

三輪麻友子(名古屋芸術大学卒業)

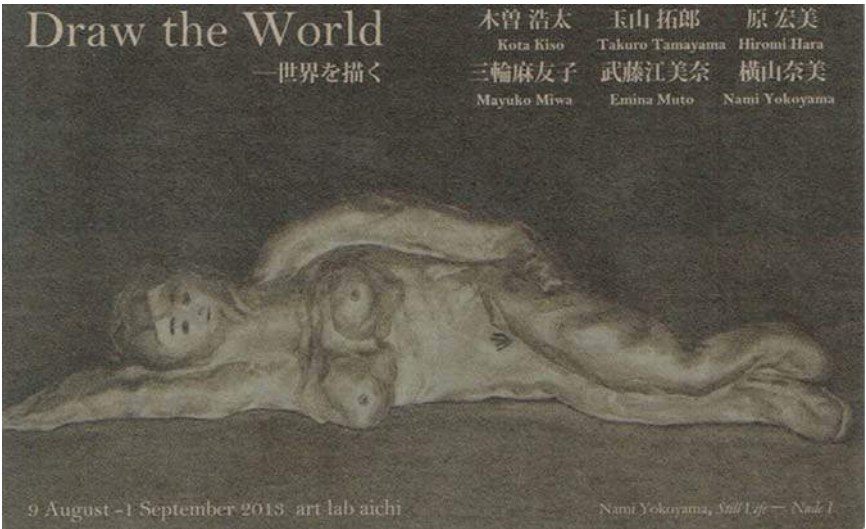
武藤江美奈(名古屋造形大学大学院修了)

横山奈美(愛知県立芸術大学大学院修了)

展示概要 | 主に絵画において、新鮮で優れたアプローチを行っている、中部圏にゆかりの深い20代の若きアーティスト6人の作品を展示した。

会期中のイベント | アーティスト+企画者によるトーク
2013年8月24日(土)19:00～20:30(参加者数 | 45名)

会期中の来場者数 | 7,712名



『Draw the World - 世界を描く』展 ハガキ表



手前: 玉山拓郎《Beautiful Wilderness》部屋、油彩 奥: 横山奈美 展示風景(2F)



原 宏美《光 集まる所》2012年、キャンバスに油彩 展示風景(3F)



武藤江美奈 展示風景(3F)



左: 横山奈美《あなたとわたしのラブゲーム》2012年、キャンバスに油彩
右: 木曾浩太《旅の途中》2010年、麻紙に岩絵具 展示風景(1F)



玉山拓郎《Beautiful Wilderness》部屋、油彩 展示風景(2F)



木曾浩太 展示風景(3F)



アーティスト+企画者によるトーク(1F)

『造形プロセッシング』
2013年9月7日(土)～29日(日)

企画 | 吉岡俊直(名古屋造形大学准教授)
主催 | 名古屋造形大学
出品作家 |
伊藤学美(京都市立芸術大学大学院修了)
川見 俊(名古屋造形芸術大学卒業)
後藤晃太(名古屋芸術大学大学院修了)
田島 圭(名古屋造形芸術大学大学院修了)
長谷部 勇人(名古屋造形大学大学院修了)
平川祐樹(名古屋学芸大学大学院修了)
前橋 瞳(愛知県立芸術大学博士前期課程在籍)
湯浅克俊(Royal College of Art, MA Fine Art修了)
和田昌宏(Goldsmiths College University of London,
BA Fine Art 卒業)

展示概要 | 作品を造る手法や、制作過程に、「作る過程」
以上の意味を持つ作品を集めた企画展。
会期中のイベント | レクチャーと実演「ジェネラティブに使う
3Dプリンター」 講師 | 沖啓介(名古屋造形大学客員教
授) 2013年9月16日(月・祝)18:00～19:30(参加者数
| 35名)

会期中の来場者数 | 12,918名



『造形プロセッシング』展 チラシ表



平川祐樹《A Candle》2013年、Full HD／30分ループ 展示風景(2F)



田島圭 展示風景(2F)



左:前橋瞳《girl in the mirror》2013年、デジタルプリント
右:《girl's talk》2013年、デジタルプリント 展示風景(3F)



和田昌宏《主婦のためのスタイリッシュなハエ(Stylish Flies For House Wives)》2012年、Full HD／39分 展示風景(3F)



川見俊《〈包丁による〉まな板彫刻》
2013年、まな板、まな板立て 展示風景(3F)



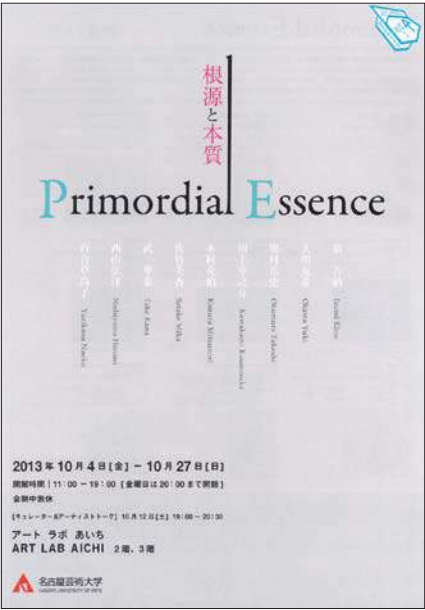
手前:後藤晃太《実在と想像の境界》2013年、ガラス 奥左:湯浅克俊 右:長谷部勇人 展示風景(2F)

『Primordial Essence — 根源と本質』
2013年10月4日(金)～27日(日)

企画 | 須田真弘(名古屋芸術大学准教授)
主催 | 名古屋芸術大学
出品作家 |
泉 吉納(名古屋市星ヶ丘保育園卒園)
大川友希(愛知県立芸術大学卒業)
奥村岳史(名古屋芸術大学在籍)
川上幸之介(Central Saint Martins College of Art And Design, MA Fine Art修了)
木村充伯(名古屋造形芸術大学大学院修了)
佐竹美香(名古屋芸術大学大学院修了)
武 華菜(名古屋芸術大学卒業)
西村弘洋(名古屋芸術大学大学院修了)
百合草尚子(名古屋芸術大学大学院修了)

展示概要 | 手探りで身近な表現を感じとりながら、その根源と素朴なりアティーに対して、再度眼差しを向けた展覧会。
会期中のイベント | アーティスト+企画者によるトーク
2013年10月12日(土)19:00～20:30(参加者数 | 42名)

会期中の来場者数 | 15,817名



『Primordial Essence — 根源と本質』展 チラシ表



手前:木村充伯 展示風景(2F)



奥村岳史《Sweat & Wind》2013年、キャンバスに油彩 展示風景(1F)



泉吉納 展示風景(2F)



大川友希《OMEN》2013年、布、角材、綿 展示風景(2F)



佐竹美香 展示風景(2F)



武 華菜《かみさま〜》2013年 展示風景(3F)

閉館のお知らせ

晩秋の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、アートラボあいちは、2011年8月に開館して以来、長者町において、あいちトリエンナーレ2013の情報発信拠点として、また愛知県内の芸術系大学の連携拠点や若手アーティストの作品展示場所として、多くの皆様にご利用頂いてまいりましたが、このたび、11月17日(日)をもちまして、閉館することとなりました。

これまで、アートとの出会いの場として、長者町の地域の皆様をはじめ、多くの皆様にご来場いただき、ご支援を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

なお、これまでアートラボあいち宛てにお送り頂きました広報物等の送付は、これをもちまして中止して頂きますよう、お願い申し上げます。

アート ラボ あいち
ART LAB AICHI



アートラボあいち

お問合せ 名古屋市中区錦2丁目10-30

TEL 052-204-6444

編集 | 坪戸雅彦(愛知県国際芸術祭推進室)

編集補助 | 増田千恵

編集協力 | 近藤令子、吉田有里、児玉美香、張祐寿

デザイン | 伊藤敦志

発行 | あいちトリエンナーレ実行委員会

部数 | 500

2014年3月